



C M S を活用した 学校ホームページ

~開かれた学校づくりのための Contents Management System~



平成20年3月

栃木県総合教育センター

はじめに

「情報化社会」の急速な進展により、インターネットが日常的に使われるようになって、すでにかかなりの年月がたちました。文部科学省が平成 17 年度に行った「学校における教育の情報化の実態などに関する調査結果」によると、公立学校におけるホームページの開設率は 76.1%でした。その後もこの数値は上昇しています。しかし、これらの学校ホームページから、保護者や在校生、入学を希望する児童生徒や同窓生、地域の方々に適切な情報が伝えられ、より良い学校づくりのために活用されているかどうかを考えると、必ずしも充分であるとは言えない状況にあるようです。

栃木県では、とちぎ教育振興ビジョン（二期計画）において、第1章の「地域の教育力を活かした学校づくり」のなかで「学校のホームページの充実」を掲げています。今年度、当センターにおける調査研究事業では、県内における学校ホームページの実態を把握してまいりました。また、コンテンツ・マネジメント・システムを活用して、児童生徒のプライバシーを守りながら、保護者や地域社会などに「開かれた学校」にふさわしい学校ホームページのモデルを作成し、その効果の検証に取り組んできました。本資料の作成にあたっては、小・中・高等学校の取り組みから、ホームページの立ち上げや運用管理をイメージしやすいように、具体的な活用例や運用する際の配付資料など、実践的な情報を中心に編集しました。

本資料が、本県の学校ホームページの活性化に寄与し、よりよい学校づくりへの取り組みにつながることを願っております。

最後に、本資料の作成にあたり御尽力いただきました研究協力委員の皆様に、深く感謝申し上げます。

平成 20 年 3 月

栃木県総合教育センター所長

五味田 謙一

目 次

1	本書のねらい	1
2	学校ホームページの現状	2
3	CMS (Contents Management System) の特長	6
4	CMSの導入に向けて	9
	(1) 環境整備	9
	(2) 運用形態	9
	(3) 管理運用	10
	(4) e-ラーニング	12
	(5) テスト環境パッケージを利用した校内 Web サイト	13
5	研究協力校の実践	14
	○ NetCommons をベースに既存のコンテンツを活用	日光市立落合西小学校… 15
	○ NetCommons 上に従来のページデザインを再現	那須町立芦野小学校… 19
	○ 既存ホームページ+ブログ・写メール BBS で快適更新	二宮町立久下田中学校… 23
	○ NetCommons で全市一斉の学校ホームページ構築	佐野市立南中学校… 27
	○ 既存ホームページ+XOOPS で学校らしさを表現	県立栃木工業高等学校… 34
	○ NetCommons モジュール、アンケート機能の活用	県立那須拓陽高等学校… 40
6	参考資料	44

1 本書のねらい

本県の学校ホームページの活性化に資するため、平成19年度の「開かれた学校づくりを推進するための学校ホームページの活用に関する調査研究」において、6校の協力を得て、Contents Management System を活用した学校ホームページを構築・運営し、その効果を検証しました。

本書は、実践事例を中心に編集しました。はじめに、本県学校ホームページの現状とContents Management System の概要を説明し、次に、導入に向けてのポイントを解説してあります。そして、6校の実践事例を紹介し、最後に参考資料を掲載しました。

それぞれの実践事例の冒頭には、取り組みの概要を示してあります。各学校の実情にあわせてあてはまる事例を選び、参考にしてください。

- 事例① NetCommons をベースに既存のコンテンツを活用
- 事例② NetCommons 上に従来のページデザインを再現
- 事例③ 既存ホームページ+ブログ・写メールBBS で快適更新
- 事例④ NetCommons で全市一斉の学校ホームページ構築
- 事例⑤ 既存ホームページ+XOOPS で学校らしさを表現
- 事例⑥ NetCommons モジュール、アンケート機能の活用

次のように考えている先生方に、是非、参考にして頂きたいと思います。

参 考 事 例

- 新規にホームページを立ち上げたい . . . 事例①,②,⑥
- 従来のホームページをリニューアルし活性化したい . . . 事例①,②,⑥
- 従来のホームページを生かしながら更新頻度を高めたい . . . 事例③,⑤
- 市町全体で一斉にホームページを立ち上げたい . . . 事例④

本書をきっかけに、県内各校で学校ホームページが公開されることを願っております。

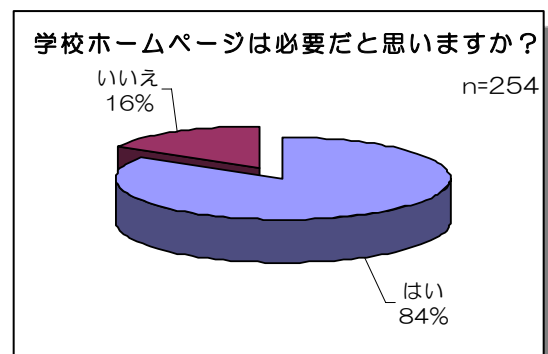
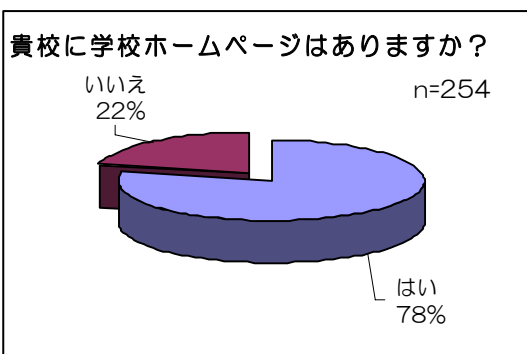
なお、本研究の実現のためのサーバ環境整備に当たっては、日光市教育委員会、那須教育事務所、真岡市情報センター、佐野市教育センターの、多大なる御支援がありましたことを申し添えますとともに、御協力に対し深く感謝申し上げます。

2 学校ホームページの現状

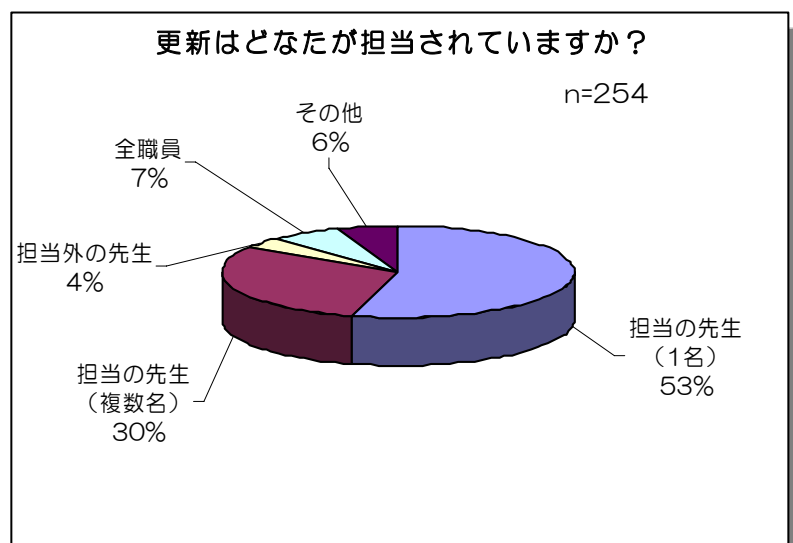
総合教育センターにおける研修や各種研修会の折に学校ホームページに関するアンケートに御協力いただき、小学校と県立学校の先生方から回答をいただきました。

アンケート結果

- 小学校・県立学校のホームページ開設率は約8割
- ホームページの必要性を感じている学校は8割以上
- ホームページ担当者1名の学校が5割以上
- 保護者や地域とのコミュニケーションに積極的に活用している学校は1割程度
- 月に1回程度またはそれ以下の更新頻度の学校は7割以上
- ホームページ運営に関する時間の確保が困難



アンケート結果をみると、多くの先生方が学校ホームページの必要性を感じているにもかかわらず、校務が多忙なために学校ホームページの開設や、それに必要なスキルを身につけるための時間がなかなか取れない現状がうかがえます。

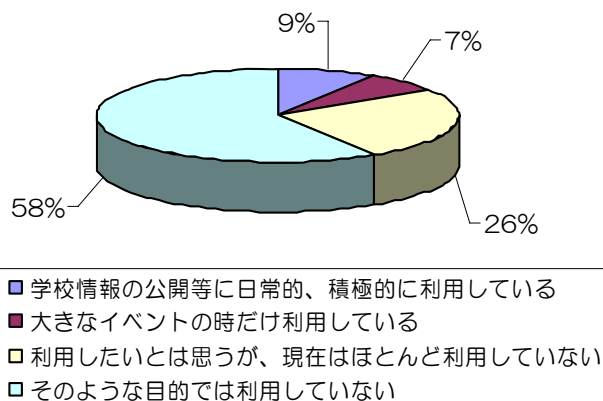


また、下のグラフからもわかるように、既に学校ホームページが開設されている学校においても、ホームページ担当者への負担の集中や組織的な運営の難しさなどから、その更新頻度は月に1回程度の学校が多く、少ない場合には学期に1回程度にとどまっている学校もあります。

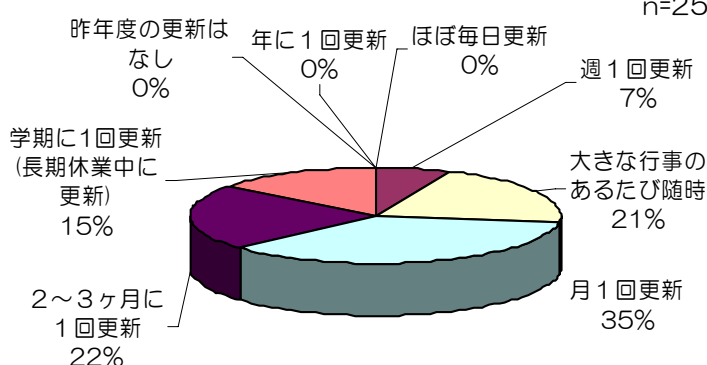
発信された内容について、全国の数値と比較すると、「学校紹介」カテゴリのコンテンツはある程度発信されていますが、「学校の内容」や「活動」カテゴリのコンテンツは少なく、「アナウンス」のコンテンツに関してはプリントによる連絡がまだまだ主流のためか、発信している学校はわずかです。

発信が必要と思われる

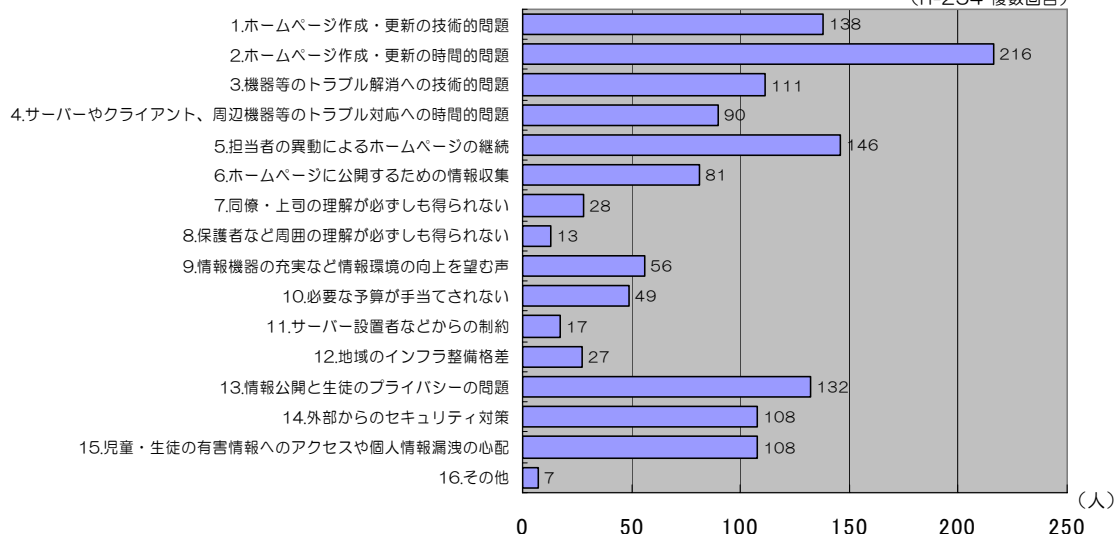
ホームページを保護者や地域とのコミュニケーションに活用していますか？
n=254



貴校ホームページの昨年度の更新頻度はどれぐらいでしたか？
n=254



ホームページ管理を含む学校の情報化に関して困っていることや課題は何ですか？
(n=254 複数回答)

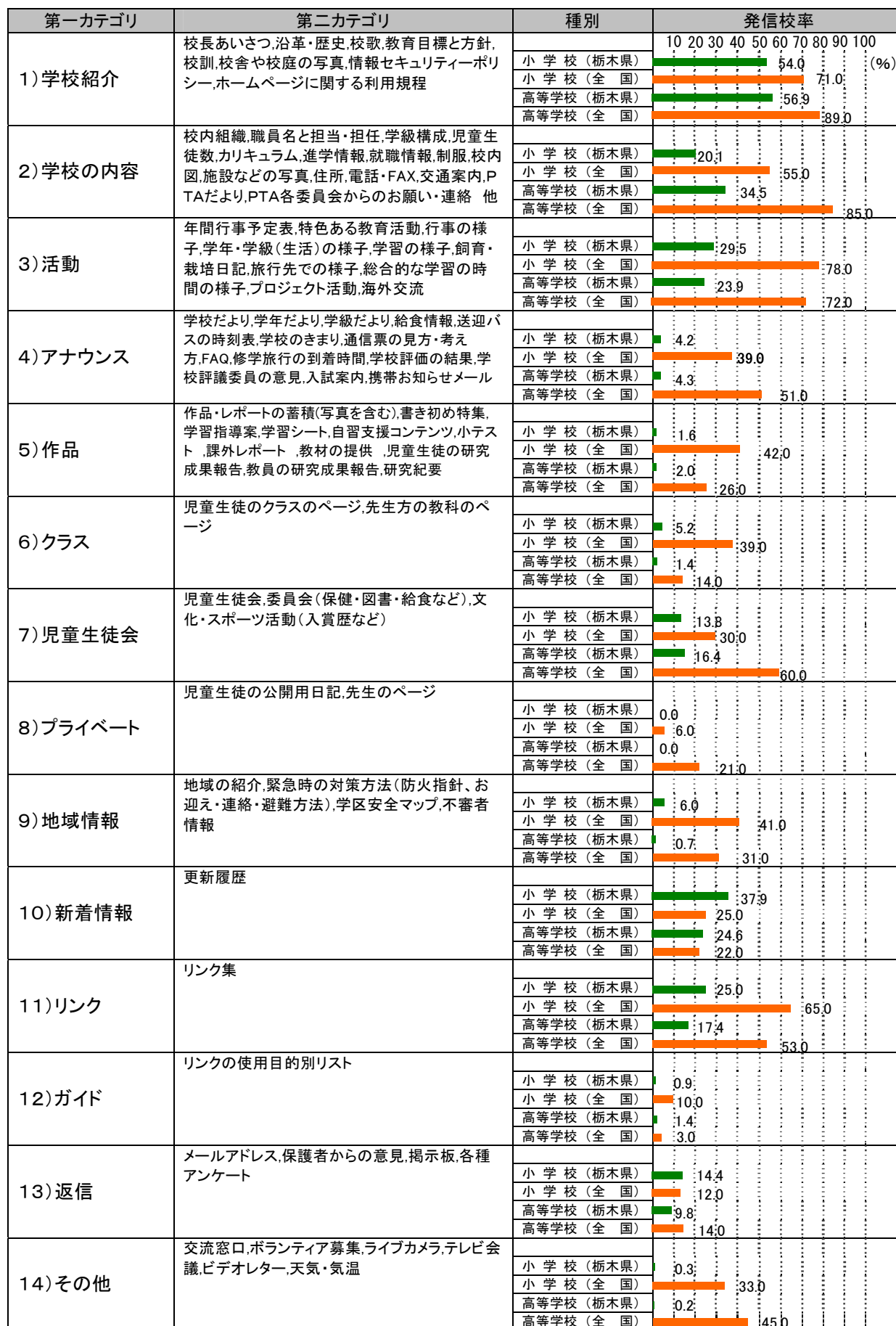


情報を比較してみると、小学校では児童の活動の様子や作品、給食の献立など、高校では進路情報や部活動の様子などが多く、それぞれの特色が現れていますが、発信している学校の数多くはありません。

○ CMSは、これらの問題の解決に役立ちます！

学校ホームページへの訪問者の中には、子どもを持つ保護者はもちろんのこと、教育に関心の高い地域の方々やボランティアの方々、そして、同窓会や企業の方々など、いわば学校の応援団になってくれる方々もたくさん含まれています。せっかく訪問したにもかかわらず、発信情報が形式的で不十分であったり、欲しい情報が得られなかったり、ましてや全くページの更新もされていなかったりしたのでは、こうした方々の信頼さえも失ってしまいかねません。学校への信頼を高めようとしてつくったはずの学校ホームページが、マイナスに作用してしまうことさえあるのです。学校ホームページにおけるニーズをとらえたタイムリーな情報発信の継続は、訪問者への信用を得るきっかけになります。

発信内容の分類に関するグラフ



参考) 学校Webサイト活用法 石塚丈晴・堀田達也 共編 高陵社書店 2005年6月17日発行 をもとに作成。

3 CMS (Contents Management System) の特長

CMSは、誰もが、簡単な操作でホームページの更新をできるようにする Web サイト構築・運用の支援ツールです。

**インターネットに接続可能な環境があれば、
いつでもどこでも学校ホームページの更新が可能です。**

二宮町立久下田中学校（23 ページ）では、日々の生徒の様子を最新ニュースとしてお知らせすることを、学校ホームページの柱としています。同校では、以下のような学校行事の情報をその日のうちに発信しました。

- 立志の船（中学2年 北海道 2泊3日）
- 修学旅行（中学3年 京都・奈良 2泊3日）
- 海外派遣事業（町内中学3校合同 カナダ バンクーバー 10日間）

保護者からは、修学旅行の記事についての次のような感想が寄せられました。

- ・ 近況をホームページ上で閲覧できるようになったので、早速昨日からアクセスしております。朝、バスを送り出して自宅に戻り、何気なくホームページを見たところ、もう、送り出した様子が載っていたのには驚きました。今までの旅行では、天気のことや、子どもの様子が心配でしたが、この試みは親としても有難く思います。
- ・ 栃木にいながら子どもと一緒に旅行をしていると思えるほどの、たくさんの写真とメッセージには大変感動いたしました。自然と顔がほころんでしまうものばかりで、アクセスするのが楽しみになりました。

イラストや児童生徒の活動の写真なども、誰もがメール送信程度のやさしい操作で、簡単に学校ホームページに取り込むことができます。コンテンツの作成・承認・公開といった一連のホームページ管理の作業量は格段に軽減されます。

**学校ホームページ担当者は、デザインやコンテンツ管理などの、
メンテナンス作業に傾注することができます。**

アップロード作業を分散することにより、管理者は、CMSに備わっている、Web サイトのデザインやページのレイアウト、コンテンツ管理などをしてくれる便利な機能を使いながら、メンテナンス作業に傾注することができます。

**校長、教頭などの管理職は、コンピュータの画面上から
コンテンツを承認し、クリックするだけで公開することができます。**

CMSには[ページ公開承認手続きを行う機能](#)があり、学校の運用体制に合わせて最適な更新業務を行うことができます。[佐野市立南中学校](#)（30 ページ）の場合、学校ホームページ管理者である校長の役割は、一日一回以上ホームページを閲覧し、新しい記事があればその内容のチェックと、公開についての承認をするだけです。

**サーバ環境を整えばメンテナンスやセキュリティ対応は専門家に任せて、
コンテンツ自体の検討に注力できるようになります。**

佐野市では、民間業者のホスティングサーバを利用し、[佐野市教育センター](#)（27 ページ）が窓口となって、全小・中学校のホームページを一括して管理できるようにしています。学校の先生方は機器類の管理やセキュリティ対応は専門家にまかせて、一番大切な教育広報活動やe-ラーニング教材などのコンテンツ自体の検討に注力できるようになります。もちろん、こうしたサーバ環境が整っていないくても、月々数百円程度のホスティングサーバを利用することにより、簡単にCMSによる学校ホームページを公開することが可能となります。

**ID やパスワードを利用すれば、
コンテンツを保護者など特定の利用者だけに公開することが可能です。**

[日光市立落合西小学校](#)（16・18 ページ）や[那須町立芦野小学校](#)（22 ページ）も、保護者に対しIDとパスワードを発行して、児童の学習活動の様子を公開しています。CMSの機能を利用したアクティブな更新により、[訪問者の数は格段に増えています](#)。[県立栃木工業高等学校](#)（38・39 ページ）では、訪問者のアクセスログを解析して訪問者のニーズを調べ、ホームページを改善しています。また、CMSには、これらのコンテンツを[携帯電話から閲覧できるような機能](#)も備わっています。そのほかにも、[県立那須拓陽高等学校](#)（41 ページ）の取り組みにみられるように、[掲示板やアンケートなど便利な機能を兼ね備え双方向の情報交換を可能](#)にしており、学校評価に利用するなど、その活用の幅がますます広がっています。

○ **様々な機能を備えたCMSは、「開かれた学校」、「より良い学校」づくりのための、心強い支援ツールになってくれるでしょう。**

CMSの特長

カレンダー機能
で行事予定も簡
単表示！

ホームページの
デザインはシス
テムにお任せ！

メールの感覚で
文字が入力でき
る。写真のアップ
ロードも簡単！

アルバム機
能でスライ
ドショー！

日光市立落合西小学校 へようこそ!

🔍 リロード 🔍 検索 📖 使い方

▼ トップページ

- ヒラギモクセイの歴史
- 落合西より
- 保健室より
- 学校からのお知らせ
- 不審者情報
- 行事予定
- 教育目標
- 学校の歩み
- 校歌
- アクセス
- ホームページ御利用について

言語の選択: [Japanese ▼]

📅 今週の生活目標

2月18日(月)～2月22日(金)
トイレのスリッパをきちんと履こう!

📅 縮小表示 >> 拡大表示

2008年 ◀ 2月 ▶ 今日へ

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	1

ユーザ名
パスワード
🔍 ログイン
SSLログイン
パスワード紛失

4人のユーザが現在オンラインです。
ログインユーザ: 0

あなたは 国語国語国語国語 人目です。
ようこそおいでくださいました!

📱 携帯用HPアドレス

携帯電話からも御覧になれます
http://www.nikko.ed.jp/ochinishi/
携帯用HPアドレスのQRコード

携帯のバーコードリーダー機能で読み取って御覧ください

📍 学校住所・連絡先

〒321-1108
栃木県日光市長畑522-2
Tel.0288-27-1206
Fax.0288-34-1014

メールアドレス
ochinishi-es@city.nikko.lg.jp

📖 ヒラギモクセイの歴史

明治28年 11月13日現在地に校舎新築し移転。この日を創立記念日とする。
創立記念に保護者よりヒラギモクセイを寄贈され植樹する。
昭和38年 7月1日ヒラギモクセイにおいては日本一の巨樹として県より天然記念物と指定される。
樹齢 推定400年
樹高 7.8m
昭和60年 鉄筋3階建て校舎が新築される。
平成元年 県の名木100選に推挙される。
平成15年 ヒラギモクセイ樹幹回復事業が始まる。
平成15年 3月末日、樹幹回復事業が終了する。
平成19年 6月後継樹育成会議が開かれる。
7月地域専門家による挿し木が始まる。
平成19年 12月14日ヒラギモクセイの後継樹(樹齢10年実生より1、5m)を植樹する。

📖 ヒラギモクセイ

カテゴリー: すべて表示 | 10件 | 下へ

2008/02/18 室内で遊ばせ

職員室窓下に2つ残っていたヒラギモクセイ挿し木のプランターを室内に取り込みました。立春を過ぎてから寒い日が続いています。本日の気温は午前7時半時点下6度(校庭)です。
左側が今日取り込んだもの、右側が1ヶ月前に取り込んだものです。ご覧の通り葉の色が全く違ってきます。

📖 2008/02/05 一面の銀世界

2月4日立春。朝6時水点下6度、積雪15cm。しかし、ヒラギモクセイの上に雪はつまず。この日当たりのよさが450年も生きながらえた理由の一つということでは。

📖 2008/01/18 防寒対策

1月12日の初雪以来、寒い1週間でした。午前8時の校庭の気温はマイナス3度まで下がりました。10月下旬に職員室窓下へ移動した挿し木の葉も緑から茶色へと変色しています。葉のせいでしょうか？5つあるプランターのうち3つを室内に取り込みました。葉は緑色に戻るでしょうか。

📖 2008/01/12 初雪

朝からの雨がお昼過ぎには雪になりました。この冬初めての雪です。昨年の冬は雪が降りませんでしたので、2年ぶりの雪になります。樹齢450年の老木にとって雪の重さと冷たさは過酷なことでしょう。

📖 スケート教室

📖 Web Album

日光ウェブアルバム

📖 日光市日地図(学習用)

日地図

📖 日光市の社会科資料

- ・市の立地地図
- ・市の立地地図(三谷方面)
- ・市の立地地図(足尾方面)
- ・市の土地の高さ
- ・土地の断面図
- ・市の山や川・湖
- ・2000mより高い山
- ・鬼怒川・大谷川の様子
- ・市の道路や鉄道
- ・市の土地利用
- ・市内の小学校
- ・日光パノラマ

📖 お天気情報(日光市長畑)

Yahoo! 天気情報 JMW

今日 明日 天気 気温

地域を選択

お知らせ 発表時刻 11:00
ブログバナー提供開始!
お天気と雪道情報をチェック!
これをブログに載せるには?

© 2008 Japan Weather Association,
© 2008 Yahoo! Japan Corporation.

📖 学習に役立つサイト集

リンク集

ログインすれば、一般非公開
の情報を会員の
みに発信可能!

携帯電話、
緊急連絡の
メール配信
などにも対
応!

カウン
ターも簡単
にセット
アップ!

お天気情報
を自動表
示、ブログ
ツールも表
示可能!

既存のコ
ンテンツ
もアップ
ロード!

4 CMSの導入に向けて

(1) 環境整備

CMS を使うためには、データベースの MySQL とスクリプト言語の PHP が必要になります。自治体や教育委員会のサーバでは、データベースやスクリプト言語を使用不可にしているところも多く、協議が必要になるかもしれません。構築が難しい場合には、**日光市立落合西小学校**のようにホスティングサーバを利用する方法があります（15 ページの事例で紹介）。現在、多くのホスティングサーバではこの環境が整っているはずですが、契約前に確認することが必要です。ただし、多くのホスティングサーバでは扱えるデータベースが一つのところが多く、複数の CMS を動かす場合には、データベースを複数利用できるホスティングサーバを選択することが必要です。自前で Web サーバを運用する場合には、サーバの設計が自由にできる反面、サーバ構築の作業が必要になります。

	ホスティング サーバ	自治体・教育委員 会 Web サーバ	自前 Web サーバ
Web サーバ構築	◎	◎	○
MySQL+PHP	◎	○	△
セキュリティ	○	◎	△
運用	△	○	◎

サーバのハードディスク容量については、画像付きの記事を掲載したりすることを考えると、100M 以上の容量を確保したいものです。CMS で構築する場合は、初期にインストールするシステム本体はそれほど大きくありませんが、必要なモジュールを追加、また、運用を続けると必ず増える画像の分の容量を、見込んでおくことも大切です。

(2) 運用形態

学校 Web ページに CMS を導入する場合、大きく分けて次の 3 つの運用形態があります。

1. すべてのページを CMS で運用する
2. CMS をメインに運用し、一部のサイトは既存の Web ページを利用する
3. 既存の Web をメインに運用し、一部のサイトは CMS を利用する

これまでの既存コンテンツがそれほど多くなく、ほとんど一から構築し直す場合には、すべて CMS で運用するのも一つの方法です。しかし、既存のコンテンツが多くある場合には、

それらをすべて CMS に移行するのは大変な作業になります。その場合には、既存コンテンツはなるべくいじらずに、CMS にリンクを貼って運用する方法があります。CMS をメインにするか既存 Web ページをメインにするかは構築のしかたにもよりますが、トップページの更新が頻繁にある場合は CMS をメインに構築したほうが管理はしやすいでしょう。

運用形態 利用状況	CMS のみで 運用	CMS + 一部既存 Web	既存 Web + 一部 CMS
既存コンテンツが多い	△	◎	◎
教育活動の更新が頻繁	◎	◎	◎
トップページの更新が頻繁	◎	◎	△
ユーザ別のサービスあり	◎	○	○
e ラーニング利用あり	◎	○	○

どの CMS を導入するかは、運用のねらいによって異なります。学校ホームページをすべて CMS のみで運用する場合は、NetCommons（ネットコモンズ）や XOOPS（ズープス）が一般的です。e ラーニングをメインに利用したい場合は、Moodle（ムードル）の方が扱いやすいでしょう。また、CMS といっても Weblog（ブログ）的に利用したいだけなら、ブログツールを利用する方法が比較的簡単です。[久下田中学校](#)（23 ページの事例で紹介）では、学校などの教育機関が無償で利用できる Blogn（ブログン）を使っています。他にも WordPress（ワードプレス）のように、無償で利用できるオープンソースの高機能ブログツールもあり、Web 上の情報も多く、解説書も複数出版されているので、運用のねらいに一番合ったツールを選択することが大切です。

（３）管理運用

CMS を導入すると、誰でも簡単に更新が行えるため、管理者の日々の更新業務は軽減されます。しかし、データベースの MySQL やスクリプト言語の PHP を使用していることから、管理者にはそれらに関するある程度の知識が必要になります。

○ バックアップ

サイトに不具合が生じた場合、バックアップから元に戻す作業が必要になります。CMS には通常バックアップツールが用意されているので、定期的なバックアップは簡単な操作で行えます。バックアップされたアーカイブファイルを解凍すると、データベースの SQL ファイルとアップロードされた画像などのファイル群に分かれます。ファイル群は FTP ソフトで通常のアップロード作業を行うだけで済みますが、SQL ファイルに戻すには

PHPMyAdmin などのツールを利用して SQL ファイルをデータベースにインポートする作業が必要です。

○ バージョンアップ

システム自体のバージョンアップの際にも、データベースのインポート作業は発生します。特に、カスタマイズなどをしていた場合などは注意が必要です。バージョンによっては、MySQL や PHP のバージョンアップの要否も確認しなければなりません。

【参考】

NetCommons ユーザカンファレンス 2008 において、新しいバージョンの NetCommons2.0 が発表されます。これまでのバージョンに比べて、デザイン性が格段に高まり、コンテンツの作成や管理についても利便性が向上しています。学校の個性を生かしたページデザインが可能になります。バージョンアップツールも準備される予定です。



国立情報学研究所リーフレットより

○ 年次更新作業

運営上必ず発生するのが年次更新作業です。異動に伴う利用者の登録・削除作業や、データの整理作業が必要になります。また、写真などのデータをアップロードしていると、たちまちディスク容量は一杯になってしまいます。サーバの容量を確保するためには記事の削除も必要になりますが、更新記事を1件1件削除していたら大変な作業になります。削除方法としては、モジュールごとに削除したりページごとに削除したりする方が管理は楽になります。当然、構築する際には、年度ごと、活動ごとにモジュールを追加するなど、年次更新を念頭において工夫しておくことが大切です。全国の学校のなかには、削除する前に CD にデータを焼き、卒業の記念品として CD を配付するといった運用をしているところもあります。

(4) e-ラーニング

NetCommons の特長の一つにグループルームがあります。グループに所属するユーザだけが閲覧できるため、e-ラーニングに活用することができます。

「日誌」、「掲示板」、「キャビネット」、「アンケート」などの通常の情報共有のモジュールを利用するだけでも、十分e-ラーニング的な使い方が可能ですが、NetCommons には、「小テスト」、「レポート」といったe-ラーニングに特化したモジュールも組み込まれています。NetCommons では、画面下部に会員のサイトアクセス状況や学習進捗状況などが表示されます。小テストを受けている場合には、ここに、小テストの結果が、レポート提出をした場合には、レポートの採点結果が表示されます。

また、e-ラーニングの機能を利用すれば、不登校の児童生徒への学習支援を行うことも可能になります。

回答結果

小テストタイトル	花の名前を当てよう！
回答者	匿名者
回答日	2007/10/20
得点	10/10点
平均点	22.7点
偏差値	34.3

花の名前を当てよう！

質問1: この花の名前は？



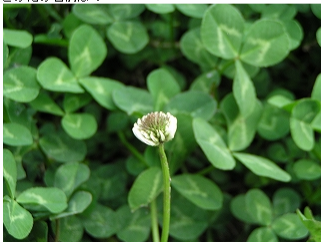
(配点:10点)

☐ ジシバリ
☒ セイウタンボボ
☐ カントウタンボボ

採点結果

結果	●正解(10点)
正解	セイウタンボボ
正解率	81%

質問2: この花の名前は？



(配点:10点)

☐ ミツバ
☐ レンゲ
☒ シロツメクサ

■花の名前を当てよう！>>集計結果

集計結果

小テストタイトル	花の名前を当てよう！
回答者数	26
平均点	22.7/10点

花の名前を当てよう！

質問1: この花の名前は？



(配点:10点)

質問1

ジシバリ	0(0%)
セイウタンボボ	21(81%)
カントウタンボボ	5(19%)

■花の名前を当てよう！>>回答結果>>質問1一覧

花の名前を当てよう！

質問1: この花の名前は？



(配点:10点)

質問1一覧

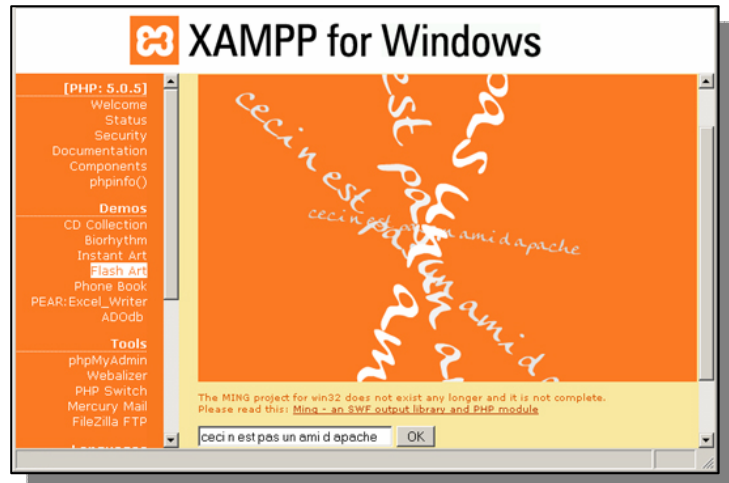
ゲスト	2007/10/20	×不正解(0点)	コメントを書く
ジシバリ	セイウタンボボ	カントウタンボボ	
ゲスト	2007/10/20	●正解(10点)	コメントを書く
ジシバリ	セイウタンボボ	カントウタンボボ	
ゲスト	2007/10/20	●正解(10点)	コメントを書く
ジシバリ	セイウタンボボ	カントウタンボボ	
ゲスト	2007/10/20	●正解(10点)	コメントを書く
ジシバリ	セイウタンボボ	カントウタンボボ	
ゲスト	2007/10/20	×不正解(0点)	コメントを書く
ジシバリ	セイウタンボボ	カントウタンボボ	
ゲスト	2007/10/20	●正解(10点)	コメントを書く
ジシバリ	セイウタンボボ	カントウタンボボ	
ゲスト	2007/10/20	●正解(10点)	コメントを書く
ジシバリ	セイウタンボボ	カントウタンボボ	

(5) テスト環境パッケージを利用した校内 Web サイト

Web サーバを構築し、MySQL や PHP をインストールして使用可能にするにはそれなりのスキルが必要になります。そこで、実際に CMS が動作するサーバ環境を簡単に構築できる開発環境を紹介します。Apache、MySQL、PHP や同じスクリプト言語の Perl の 4 つの主要ソフトウェアと管理ツールなど、いくつかの補助的なソフトウェアを一括してインストールして環境構築できるパッケージです。2 文字目以降の AMPP は主要 4 ソフトウェアの頭文字をとっています。対応 OS が Linux のみの LAMPP と複数 OS に対応した XAMPP があります。

操作してみることで、CMS の便利さを感じることができるパッケージを御紹介します。XOOPS for Corporate の Web ページからは [XSAS Plain JP](#) というパッケージをダウンロードすることができます。このパッケージで XOOPS のインストール体験やホームページの構築体験ができます。また、このパッケージの中にある、www フォルダに NetCommons のコアパッケージをコピーするだけで、

XOOPS と同様の NetCommons 体験ができるようになります。失敗しても、ダウンロードしたパッケージを保存さえしておけば、何度でも繰り返し練習ができます。できあがったホームページは、USB タイプのフラッシュメモリーで簡単に持ち運びができ、パソコン教室でスタンドアローンでの利用もできますし、校内のネットワーク環境が整っていれば、IP を入力するだけで校内 Web サイトとしての活用も可能です。



[XSAS Plain JP](#)



5 研究協力校の実践

学校ホームページの調査研究にあたり、小・中・高等学校それぞれ2校ずつ、合計6校の先生方に協力を依頼しました。また、6校以外にも、佐野市小・中学校における全市一斉構築の取り組み、真岡市における次年度の一斉立ち上げに向けての研究など、たくさんの方々の協力をいただきました。

この章では、6校の取り組みを紹介します。研究協力校の実践ページ内の基本構成は、次のとおりです。

～協力校実践ページ内の基本構成～

学校名 研究協力委員

従来のホームページ状況

CMSによるホームページの構築

CMSによるホームページの運用

活用事例

まとめ



NetCommons をベースに既存のコンテンツを活用



NetCommons を採用したホームページです。当初、日光市 Web サーバへの構築を検討しましたがセキュリティの関係上実現できず、日光市と日光市教育委員会の御協力により、民間ホスティングサーバとの契約によるサーバ環境を整えました。ホームページの作成に当たっては職員や保護者などからの声を反映し、ホームページをデザインしています。また、旧ホームページのコンテンツも、モジュールをうまく使い活用しています。各モジュールの特長を活かした、新規導入の手本のような学校ホームページです。

1 **学校名** 日光市立落合西小学校
研究協力委員 齋藤 幸成 教諭

2 CMSによるホームページの構築

(1) サーバ環境

民間業者のホスティングサーバを利用
〈ホスティングサービスの内容〉

- サーバ容量 (www・メール他合計) 10GB
- メールアカウント数 200 個まで
- FTP アカウント数 10 個まで

(2) 構築作業 (技術的内容)

- ① 日光市に民間業者とのホスティングサーバ契約を依頼する。契約後に民間業者より付与された FTP アカウント・パスワードを使用し、学校担当者側で NetCommons システムの構築に当たる。
- ② NetCommons サイト (<http://www.netcommons.org/>) よりコアパッケージ用 NetCommons1.0.11.zip をダウンロードし解凍する。「docs」と「html」のフォルダの内、「html」フォルダをサーバへアップロードする。
- ③ アップロードした「html」のフォルダ名を「ochinishi」に変えることで URL ディレクトリ名を学校名に変更することができる。
- ④ ブラウザに URL (<http://www.nikko.ed.jp/ochinishi/index.php>) を入力すると、インストールの初期画面が表示される。手順に従って NetCommons のインストールを行う。

(3) 構築のポイント

- ① 日光市の場合、セキュリティの関係上、公的な機関から民間業者のホスティングサーバへのアップロードを行うことができないので、自宅での作業となった。今後、複数校でこのシステムを導入していく際には、民間業者あるいは市側に協力してもらう必要がある。
- ② 自宅でファイル転送をするのに FFFTP を使用したが、ウィルスソフトなどの関係から NetCommons フォルダのアップロードを1度の作業で完了することができなかった。そのため、下位フォルダやファイルからアップロードしていくことで対応した。
- ③ NetCommons1.0.11 のアップロード後、index.php が動作しなかったために民間業者に連絡し、対応してもらった。ホスティングサーバであってもこういったケースが考えられる。



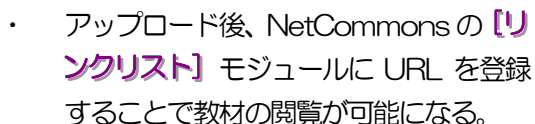
(1) ホームページの設計

(2) 作成作業（技術の内容）

- 落西小だよりなど、各ページ作成には、NetCommons に導入されている【日誂】などのモジュールを利用し、開かれた学校づくりに効果的なホームページになるように考えてきた。

- 社会科資料集のリンクには【[リンクリスト](#)】モジュールを使用した。Flash8 を使って作成したページであり、公開していないものについては下記の手順を踏んだ。

- ・ Flash で作成した編集ファイルを除く html ファイルと Flash ムービーのファイルを用意する。
- ・ 自分のコンピュータにフォルダをつくり、作成したそれぞれの上記ファイルをまとめて入れる。今回フォルダ名は「socialstudy」とした。
- ・ 次に ffftp を使い「socialstudy」フォルダを、サーバの「ochinishi」フォルダ外にアップロードする。



- ③ 画像への直接リンクについて（お天気情報など）

【お知らせ】 モジュール内にHTML タグを入力し、オプション「HTML タグを有効にする」にチェックする。

[\[upload_image align=left](http://www.adobe.com/jp/products/acrobat/readstep2.html)

- 16 -

④ Google map について

Google のアカウントを取得し、マイマップ作成後、HTML のタグを【お知らせ】モジュール内に貼り付ける。これにより、ホームページのモジュール枠内に地図が収まるようになる。

(3) 運用体制

管理者は校長であり、【日誌】モジュールなどの公開について承認機能を利用した承認権限を持つ。各担当者が作成したページをチェック後に公開している。

(4) 運用のポイント

日々の学校の情報を保護者・地域に提供していけるよう、組織体制を確立していくことが必要である。

4 活用事例

(1) ホームページデザイン

【トップページ】

「落西小だより」	全職員（週3回程度の更新）
「学校からのお知らせ」	全職員（必要に応じて更新）
「不審者情報」	校長・児童指導主任（必要に応じて更新・PDF ファイル）
「保健室だより」	養護教諭（必要に応じて更新）
「行事予定」	教務主任（必要に応じて更新）
「今週の生活目標」	生活当番担当（週1回）

(2) モジュール活用例

【新着情報】

トップページ

【日誌】

「落西小だより」・「学校からのお知らせ」・
「保健室だより」・「教育目標」

【リンクリスト】

「Web Album」・「日光市の社会科資料」・
「学習に役立つサイト集」・「リンク集」

【キャビネット】

「不審者情報」

【カレンダー】

「行事予定」

(3) 【GroupRoom】の活用例

【ログイン内【GroupRoom】】

【掲示板】（【掲示板】モジュール）

「市教委・市内小・中学校掲示板」・「本部 PTA 掲示板」・「スクールガード掲示板」・
「職員連絡掲示板」

【学年のページ】（【日誌】モジュール）

「1年生のページ」・「2年生のページ」・「3年生のページ」
「4年生のページ」・「5年生のページ」・「6年生のページ」

(4) その他

職員・保護者へのアンケートや直接の声などをもとにホームページのデザインを行った。保護者へのアンケート結果では、ホームページに期待する内容として、「子どもたちの活動を伝えるページ」が全体の33%、「行事予定のページ」が23%であり、合わせると全内容の過半数を占めた。次いで、「不審者情報」や「掲示板による情報交換の場の提供」という結果になった。

【お知らせ】

「今週の生活目標」・「携帯電話用ホームページアドレス」・「学校住所・連絡先」・「夢あふれる学校づくり」・「お天気情報（日光市長畑）」・「Yahoo!天気予報」・「学校の歩み」・「校歌」・「アクセス」・「ホームページ御利用について」

【フォトアルバム】

「日光の自然」

そこで、上記内容を踏まえ、トップページには、常時更新していくものと、必要に応じて更新していくものとに分け、トップページ内の各ページを作成した。また、その他には地域における社会科資料など、学習に活用できる教材や、天気予報などの情報も掲載した。

ログイン内 **【GroupRoom】** には、各掲示板と学年のページを作成した。

掲示板についてはそれぞれの関係者以外は閲覧や投稿ができないように配慮した。「本部PTA 掲示板」・「スクールガード掲示板」は主に管理者である校長・教頭が担当しており、日々の連絡など情報交換の場として有効に活用されている。また、「職員連絡掲示板」は、当初、CMSについての職員の理解のために設けたものであるが、使い方に慣れてくるに伴い、日々の校務や教材などの情報交換に活用できるまでに至っている。

また、一般保護者に対しては、各学年別にIDとパスワードを配付した。**【GroupRoom】** 内にゲストとして登録し、学年のページのみ閲覧ができるように設定した。

5 まとめ

(1) メリットとデメリット

○ メリット

- ・ NetCommons1.0.11 の場合、デザイン性に幅はないが、学校の情報を伝えていくという基本的な機能は十分である。各モジュールをうまく活用することで、効果的に情報の提供や共有ができる。
- ・ ID・パスワードを使ってログインすると **【GroupRoom】** が追加され、関係者内での情報交換が可能である。（掲示板など）
- ・ 従来のホームページのようにファイルの構成を気遣うことが少ないので、管理がしやすい。
- ・ アクセスログ分析がサーバのコントロールパネルにログインすることで閲覧できる。（サーバ機能）
- ・ ブラウザが使用できればどのコンピュータからも記事の投稿ができ、従来のホームページのようにFTPによるアップロードの必要がないことから、組織ぐるみでホームページの更新ができる。記事の掲載も決定ボタン一つで公開できるため、更新率も格段に向上した。
- ・ NetCommons の基本構成は分かりやすく見やすい。
- ・ Top ページに子どもたちの活動などの情報を掲載していくことで、学校の日々の取り組みが理解しやすい。特に、校内での活動は保護者にとって知りたい情報なので、写真とコメントを掲載するだけでも学校理解に大いに役立っている。
- ・ NetCommons を利用していただいている保護者からは、閲覧がしやすく学校での行事などタイムリーに知ることができることや、子どもとの会話の話題づくりに生かせること、さらには、掲示板の書き込みがしやすく情報交換に役立つという声など、現時点での評価は高い。

○ デメリット

- ・ コンピュータのスペックや環境により動作に差が見られる。クリック後、ワンテンポ遅れてページが表示されるコンピュータについては、更新の時に扱いにくい。
- ・ 掲示板は情報交換に役立っているが日々の管理が必要である。ID・パスワードによる制限を設けているので、関係者以外の投稿はできず安心であるが、投稿に対する返答は即時性が求められるので、できれば日に一度はログインし、内容を確認する必要がある。

(2) 今後の課題

- ・ 本校ではCMSの推進に理解を得ることができ、全職員の協力のもとホームページの更新作業を行っているが、コンピュータの扱いに慣れた職員ばかりではないので、負担をかけてしまっているケースもある。現在、学年ブロックやチームでの更新体制も視野に入れ、より有効な校内での組織化を検討中である。



NetCommons 上に従来のページデザインを再現



NetCommons を採用したホームページです。もともとあったホームページのイメージや構成を活かし、CMS上に従来のホームページデザインを再現しています。HTML で記述されていた各ページのコンテンツも、モジュールを活用しそのまま移行しています。リニューアルといった印象を与えない、とてもスマートな全面移行です。運用に当たっては、ホームページ公開ガイドラインを作成し、また、写真などの掲載に際しては著作権や肖像権にも配慮しています。（44 ページ以降の「5 参考資料」参考）

- 1 **学校名** 那須町立芦野小学校
研究協力委員 中川 幸夫 教諭

2 従来のホームページ状況

(1) サーバ環境

那須町教育委員会の担当者と交渉し、従来の OCN との契約を「メール&ウェブ Advance」に変更
 サーバ容量 600M 独自 CGI (Perl, UNIX SH, KSH, CSH) 使用可
 データベース (MySQL) インストール済み (データベースは、Perl か PHP を使う以外は、SQL によるコマンド操作のみ)

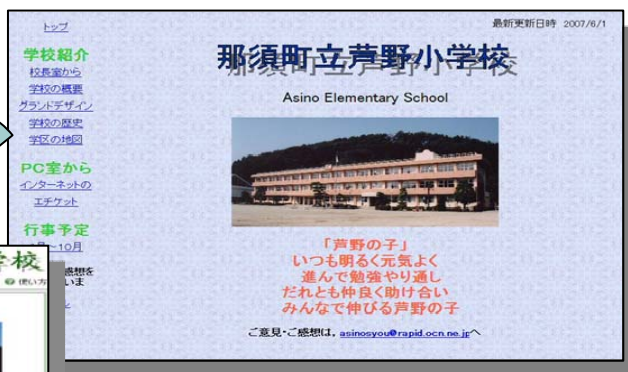
3 CMSによるホームページの構築

(1) ホームページの構成

芦野小学校では、これまでのホームページの内容を生かしつつ、CMS を利用した学校ホームページへ全面移行することにした。また、従来からある芦野小学校のホームページのデザインを、なるべく踏襲するかたちで構築を進めた。これまでのホームページの年間ではほとんど固定される画像や文章は、従来と同様のレイアウトを CMS で再現し移行した。これは、以前のホームページが簡単な構造であり、変更することが少ない内容であることが幸いした。これまでの HTML で書かれたページの内容は、ほとんど手を加えることなくほぼそのまま、**【お知らせ】** モジュールに移行することができた。

【学校紹介】

- ・「校長室から」
- ・「学校の概要」
- ・「グラウンドデザイン」
- ・「学校の歴史」
- ・「学区の地図」



左にメニュー画面、
右にメイン画面を持つ2ペイン構成

(2) 構築における留意点

XOOPS にはない **[GroupRoom]** という概念を持ち、各ページの上に複数のモジュールをポートレットとして配置することが可能である。ただし、その分インストールするファイルが多くなり、サーバの容量を使う(約 80M)ことが難点である。

また、インストール中にデータベースを作成するので、データベースにアクセスする ID やパスワードを調べておく必要がある。

(3) 初期設定のポイント

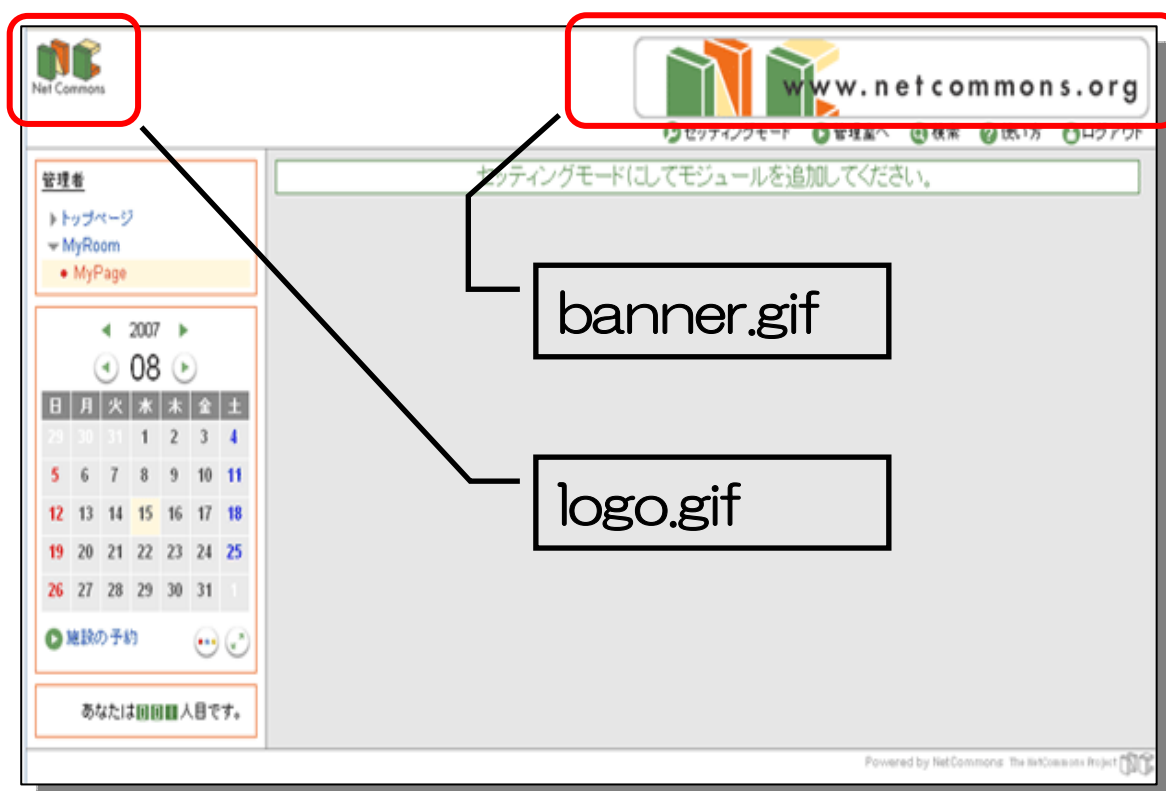
トップページを作成するには、ヘッダー部分に表示する画像が必要となる。最初は、ヘッダー左側の logo.gif、右側の banner.gif をインストールされたときの画像と交換する。この画像が大きすぎると、コンテンツを表示する面積が少なくなるとともに形が崩れてしまう。表示するブラウザをどの程度の大きさで想定するかによって違うが、2つの画像の横幅の合計は 800 ピクセル未満で、logo.gif より banner.gif が 50 ピクセル低いとちょうどよくなるようだ。また、この2つの画像には、<http://www.netcommons.org/>へのリンクが張られているので、**[テーママネージャ]** でリンク先 URL を表示したいサイトに変更する。

また、バージョン 1.0.x では、サブタイトル「Making Creative Use of the Internet」は、データベースに設定されている。変更する場合は、以下の SQL 文を phpMyAdmin か MySQL コマンドで実行する必要がある。なお、新しい 1.1.x 以降のバージョンは、変更機能を備えている。

(XOOPS_DB_PREFIX は、mainfile.php の設定を参照)

```
UPDATE (XOOPS_DB_PREFIX)_config SET conf_value='変更する文' WHERE conf_id=2
```

上部にどのページでも変わらないヘッダー部分、左下にメニュー部分、右下に半分以上を占めるコンテンツ部分、下部にフッター部分が 1 行ある。メニューが左右にあるレイアウトは、メインコンテンツの面積が狭くなるので採用しなかった。また、画像の多い **[日誌]** などをトップページにするレイアウトも考えられるが、最初に多くの画像を読み込むことで、動きが重くなることから採用しなかった。



NetCommons インストール後の初期画面

4 CMSによるホームページの運用

(1) 各モジュールの特長

【お知らせ】

一つのモジュールで掲載できる記事が一つで、変更すると前の内容は消えてしまう。前に掲載した内容を残したまま別の記事を載せたい場合は、モジュールを追加する必要がある。どちらかというに変更しない内容をずっと表示したい場合に使用するといいだろう。HTML のタグに対応しており、従来のサイトデザインを活かして移行したい場合にも対応できる。本校のトップページに使用している。

【日誌】

モジュールは、記事を不定期に掲載していくために最適である。画像のアップロードや HTML のタグにも対応している。新しく投稿した記事が一番上になり、管理者による承認機能や閲覧者によるコメント書き込みができる。【お知らせ】モジュールと違って、記事ごとにモジュールを追加する必要はない。投稿することのできる閲覧者を制限することができる。本校の「お知らせ」と「芦野小だより」、保護者用【GroupRoom】の中で使用している。

【掲示板】

ある内容について意見を求めるような場合に有効で、返信という機能を利用して閲覧者が意見を投稿できる。投稿することのできる閲覧者を制限することができるが、どのような使い方が有効なのか不明だったために、本校では使用していない。

(2) 運用体制

記事などの承認権限を持つ「管理者」は、校長、教頭、ホームページ担当者の3名とした。新規記事の投稿権限を持つ「主担」は他の教員、記事に対する投稿ができる「一般」を登録保護者としている。他に「トップページ管理者」や「ゲスト」の会員権限もあるが、現在のところ使用していない。

また、記事の分担は、全校行事など一教務、PTA 行事一教頭各学年一学年担任、学年にまたがる行事一担当者または教務、その他一ホームページ管理者が投稿することとした。

(3) 運用のポイント

ホームページ担当者が、すべて記事の作成とアップロードを行うのは負担が大きく、担当者が異動した後の更新にも問題が生じるおそれがある。運用体制として指定した担当者が記事を投稿し、ホームページ管理者がサポートする方が理想である。「管理者」は、担当者の投稿を吟味し、内容に誤りなどがなければ承認するというだけの関わりにすることで、事務手続きが軽減される。

ホームページに写真を掲載するに当たっては、著作権と肖像権に注意する必要がある。本校では、ホームページ公開ガイドラインを作成するとともに、「写真・ビデオの取扱い」や部活動の大会成績などの



公表について」を配付し、保護者に了解を取った上で掲載している。

学校の所在地・連絡先には、メールアドレスを表示しているが、スパム対策としてメールアドレスをgif ファイルで表示している。テキストで表示するよりは収集される危険が減ると期待している。

5 活用事例

(1) モジュール活用例（『バックアップ』モジュール）

CMS は今までのホームページと違って、ホームページのファイルが手元のパソコンに残っているわけではない。書き込んだ内容や画像はサーバに保存されているので、サーバに不具合があった場合に回復ができない。そのため、定期的にバックアップを取って保存しておく必要がある。そのために管理者の『MyRoom』にある『バックアップ』モジュールを使用する。作成ボタンを押してしばらく待つとバックアップファイルが作成されるので、手元にダウンロードして保存しておくといよい。

(2) 『GroupRoom』の活用例

保護者用ルームを設置し、学校だより、各学年だよりをPDF 形式に変換してファイルを『キャビネット』に保存している。保護者会員として登録されている人数が少ないために、まだ利用は少ないが、今後は利用する保護者会員が増えてくるものと考えている。

(3) その他

保護者会員は、メールか連絡帳で連絡のあった場合に、申込書に記入してもらってから登録している。これは、申請者が保護者であることを確認するためである。また、セキュリティを高めるため、各保護者ごとのID を登録し、ランダムパスワードを発行して保護者に通知している。

6 まとめ

(1) メリットとデメリット

- ・ ホームページの管理と更新がしやすくなるメリットがあるが、サーバにある程度の容量とデータベースが使用できるなどの環境が必要となる。頻繁に更新し、学校の様子を保護者地域に公開できることは、CMSを使う最高のメリットの一つである。しかし、サーバについては、予算が伴うので行政側の判断が必要であり、学校だけでは決定できない点が課題に上げられる。
- ・ アクセス数が非常に多いのはうれしいことであるが、保護者数から考えられるアクセス数以上であり、どのような閲覧者がいるのか不安がある。アクセス解析などを行うことで実態を把握していく必要がある。
- ・ 学校や学年での行事や活動の様子を細かくアップロードしているので、保護者が素早く情報を得られる。また、会員として登録している保護者は、学校だよりや各学年だよりをダウンロードすることができる。
- ・ HTML の知識なしに簡単な操作で画像付きの記事を投稿できるので、更新率を上げることができた。
- ・ 学校の保護者以外にアナウンスはしていないが、アクセスカウンターの動きが速く、11 月 29 日現在で 11 万アクセスを超えている。ほぼ5か月の運用なので、月にすると2万アクセスとなる。同じパソコンからのアクセスは、一定時間はカウントアップしないが、重複を考えても月に延べ1 万人が見ていたことになる。

(2) 今後の課題

- ・ ホームページを学校の情報発信の道具として使う用意はできたが、今後も同じように更新していくことが一番の課題である。子どもたちの生き生きとした活動をいかに伝えていくかを、継続して研究していきたい。
- ・ 保護者と情報を共有できるツールであることを有効に生かしているとは言い難い。会員となっている保護者が少ないのも情報共有ができない問題点となる。今後は、保護者の会員の登録についてどのような形態がよいのか研究すべきであろう。



既存ホームページ+ブログ・写メールBBSで快適更新



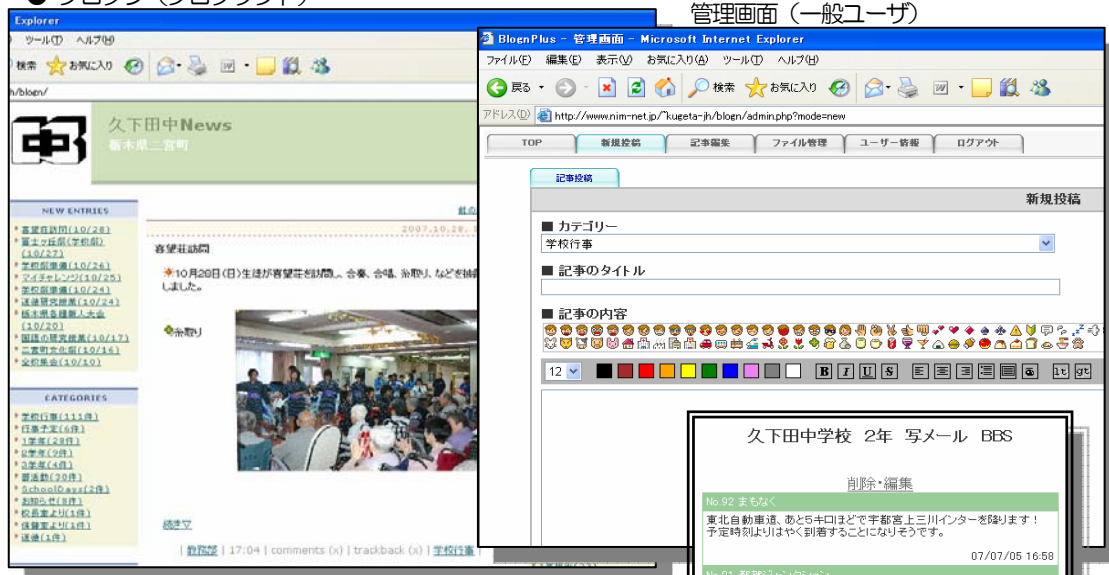
既存のホームページ内の更新頻度の高いページに、ブログソフトとメール投稿型の BBS をビルトインしています。携帯電話からの更新ができるので、取り立てて新たなソフトの入力方法を覚える必要がなく、手軽に投稿ができるため、多くの先生方によるアクティブな運用を可能にしています。宿泊をとまなう行事や遠足などの行事の際は力を発揮し、また、海外派遣事業などでも利用が可能です。いずれも携帯電話からの更新と閲覧ができるので、リアルタイムでの情報提供が可能となり、保護者からも大変好評を得ています。26ページの「写メール BBS を運用しての感想」を御参照ください。

- 1 **学校名** 二宮町立久下田中学校
研究協力委員 皆川 浩司 教諭

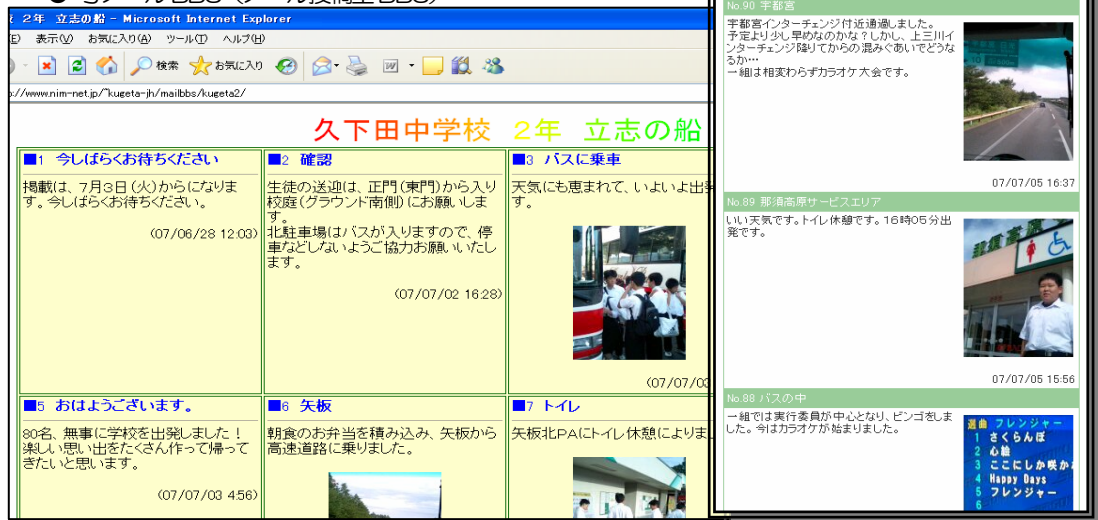
CMSソフト名 ブログ・写メールBBS (レッツPHP <http://phps3.to/> フリーソフト)

● ブログ (ブログソフト)

管理画面 (一般ユーザ)



● 写メールBBS (メール投稿型BBS)



古い記事を上に表示 (閲覧ファイルは皆川協作)

新しい記事が上に表示 (デフォルト表示)

2 従来のホームページ状況

(1) サーバ環境

- ・ CGI、PHP、SQL、XOOPS

(2) ホームページの構成

- ・ 学年のページ、お便り、部活動、学校概要

(3) 更新頻度及びアクセス数

- ・ 情報担当者がホームページビルダーで作成後、印刷し回議。そして、FTPでアップロードし公開という手順。
- ・ 月1、2回の更新頻度。
- ・ アクセスカウンターや解析を行っていなかったため、アクセス数などについてはわからない。

3 CMSによるホームページの運用

(1) サーバ環境

- ・ PHP

(2) 構築作業（技術的内容）

- ・ 基本的には、ホームページに記述してあるとおりに行う。特段難しいことはない。
- ・ ファイルを解凍し、適当なフォルダにアップロード。
- ・ 写メールBBSは、configファイルに必要事項を記述し、アップロードする。
- ・ パーミッション設定を指定されたとおりに行う。
- ・ SQLは使用しなくても動作する。
- ・ 写メールBBSは、受け専用のメールアドレスが必要。（Yahooなどのフリーメール可）

(3) 構築のポイント

- ・ 写メールBBSは、POP接続をかけるため、サーバのセキュリティポリシーによりメールを取得することができない場合もある。サーバ管理者に問い合わせるとよい。

4 CMSによるホームページの運用

(1) ホームページ設計

- ・ 日々の生徒の様子を最新ニュースとしてお知らせする。

(2) 作成作業（技術的内容）

- ・ ID、パスワードでログインし、記事の予約投稿をする。
- ・ 予約投稿したことを教頭に知らせ、教頭が記事を確認した後公開する。

(3) 運用体制

- ・ 各学年1名と副教務主任で記事の更新。教頭が管理者権限を持ち公開作業を行う。

(4) 運用のポイント

- ・ 各学年の担当者は各学年の様子、副教務は月1度の主な行事予定を作成する。
- ・ Web管理者は、全校にかかわる行事をアップロードする。
- ・ ブログソフトは、記事承認機能がないため、記事公開予約のスイッチを入れる。
- ・ 写メールBBSについては、認証機能がないため、メール送信後記事がすぐ公開される。

5 活用事例

○ ブログ

- ・ 生徒の日々の様子のお知らせ

○ 写メールBBS

- ・ 立志の船(中学2年 北海道 2泊3日)
- ・ 修学旅行(中学3年 京都・奈良 2泊3日)
- ・ 海外派遣事業(町内中学3校合同 カナダ バンクーバー 10日間)

6 まとめ

(1) メリットとデメリット

【メリット】

○ ブログ(ブログソフト)

- ・ 記事の更新が簡単である。
- ・ 既存のホームページに付け加える日記としては設置も含めて手軽である。
- ・ RSSに対応している。
- ・ 携帯電話からの閲覧が可能。

○ 写メールBBS

- ・ アクティブな運用ができるので、宿泊をともなう行事や遠足などの行事に利用できる。
- ・ メールで記事が作成されるため、記事作成者に特に覚えてもらうことはない。
- ・ 海外派遣事業でも利用できる。
- ・ 携帯電話からの閲覧が可能。
- ・ ホームページに時刻が記載されるため、時刻の記録がいらず、次年度への引継ぎが楽。

【デメリット】

○ ブログ(ブログソフト)

- ・ 記事承認設定がないため、記事公開予約で対応する。
- ・ 記事承認後の記事の変更ができてしまう。
- ・ ホームページ全体の運用は難しい。

○ 写メールBBS

- ・ 記事承認作業がないので誤ったファイルのアップロードの可能性がある。
- ・ 携帯電話からの更新になるので/チケット代金が個人もちになってしまう。
- ・ 携帯電話からの記事の訂正ができない。

(2) 今後の課題

- ・ ホームページ運用の後任の育成。
- ・ 担当者の異動後の運用。
- ・ 写メールBBSが動作するサーバを探すか町の情報担当者との交渉。
- ・ 写メールBBSの運用に際し、Eメールが可能な携帯電話のレンタルを利用する。

(3) その他

- ・ 写メールBBSの運用について、保護者に通知文を配付した。閲覧方法については、学校のホームページからのリンクがあることと携帯電話からのアクセスが可能なことを知らせた。特に、携帯電話からのアクセスについては入力ミスを想定し、QRコードを作成して通知文に掲載した。なお、QRコードについては、ネット上で無料で作成できる。
- ・ PHPの設定(phi.ini)で、GDライブラリをオンにすると画像のサムネイルを自動作成してくれる。特に携帯電話からの閲覧に優いづくりになる。
- ・ 行事の写真をファイルサーバに保存し、多くの教員が利用できる環境にあると、ホームページに限らず、学年・学校だよりや掲示物などに利用できる大変便利である。



○ 写メール BBS を運用しての感想

【教師】

- ✚ 開かれた学校づくりに一役買ったし、学校教育への理解が深まったものと思います。
- ✚ 携帯電話からの入力が面倒なので生徒に入力をさせ、記事をアップしたこともあった。
- ✚ カウンターをつけたためアクセス数が分かり、記事更新の励みになった。
- ✚ 携帯電話からの記事の訂正ができないため、残留の先生に記事チェックをお願いした。
- ✚ 思ったほど記事の更新が面倒ではなかった。
- ✚ 天気や、行程の状況が分かったのでよかった。
- ✚ 携帯電話からメールを送るだけなので簡単。
- ✚ 見ている方々に喜んでいただけたのが良かったです。
- ✚ 来年度も実施してほしいと思う。
- ✚ 肖像権への配慮から、写真に写る生徒の顔の大きさに迷った。
- ✚ 携帯電話の写真では写りが悪かったり、暗かったりしたのが残念でした。
- ✚ デジカメ記録の係も兼任していたので送信数が少なくてすみません。
- ✚ バスの運行状況が分かったので、保護者の迎えがスムーズだった。
- ✚ これから本格実施するのであれば、個人の携帯電話からではない方がいいのではないか。
- ✚ 数人の保護者から、「ホームページ良かった。」との感想をいただきました。

【保護者】

- ✚ 今年から、修学旅行・立志の船と、近況をホームページ上で閲覧できるようになったので、早速昨日からアクセスしております。朝、バスを送り出して自宅に戻り、何気なくホームページを見たところ、もう、送り出した様子が載っていたのには驚きました。（去年は2年生と3年生の子供がいたので）今までの旅行では、天気のことや、子どもの様子が心配でしたが、この試みは親としてとても有難く思います。先生方にお手数をかけることになると思いますが、来年以降も続けていただければ保護者として安心して子供の帰りを待つことができます。
- ✚ 試験運用のBBSでは、栃木に居ながら一緒に修学旅行をしていると思えるほどのたくさんさんの写真とメッセージに大変感動いたしました。自然と顔がほころんでしまうものばかりで、アクセスするのが楽しみとなりました。当たり前のことかもしれませんが、今回の旅行の準備は息子が全て行い、親が何のアドバイスをすることもなく出発したこと、子供の成長を感じ喜んでおりました。一日目に着ていく下着まで旅館に発送したというハプニングがあったものの、元気に帰ることができましたことに感謝申し上げます。親は子供がいくつになっても心配なものです。今後もこのようなBBSの企画を続けていただくと大変うれしく思います。
- ✚ 我が子は男の子のためか、「立志の船」について学校で戴いた日程表以外の細かな内容を事前に話してくれなかったため、ホームページのお陰で内容を知ることができ、帰ってきた子供と一緒にホームページを見て話を聞く事もできました。また、帰宅が早くなる事もわかり安心して待つことが出来ました。

今後もこのようなホームページがあると保護者としては助かります。しかし、こまめなメール更新は見る者としては嬉しいのですが、お忙しい中でのメール送信は先生方の負担が大きかったのではないのでしょうか。先生方に無理のない程度のホームページ運営をお願いします。



NetCommons で全市一斉の学校ホームページ構築



佐野市における小学校 28 校、中学校 10 校及び教育センターを含めた合計 39 拠点の、全市一斉のホームページ構築に関する取り組みの事例です。メンテナンスやセキュリティーは教育委員会が一括管理することで、各校の先生方は教育広報活動や e-ラーニング教材などコンテンツ自体の検討に注力できるという、様々な研究の中で現在理想とされている形態での導入を実践しています。全市共通のシステムですので、異動に伴う引継業務が軽減でき、グループウェアとしての活用も可能です。真岡市でも同様の取り組みを実施中です。一斉導入を検討する上で、大変参考になる事例です。

- 1 **学校名** 佐野市立南中学校 他
研究協力委員 手塚 裕之 教諭 他

2 従来のホームページ状況

【佐野市の現状】

平成 19 年 2 月現在、市内全小・中学校 38 校(小 28 校、中 10 校)中、28 校(小学校 20 校、中学校 8 校)が学校ホームページを開設している。しかし、頻繁に更新し、保護者などに積極的に情報を公開している学校がある一方、ほとんど更新が行われていない学校も数多くあった。

サーバ環境は全ての学校が民間のプロバイダのサーバを利用している。なお、合併前の旧市町によって契約プロバイダ及び契約内容が異なり、学校によっては、サーバの利用領域が 10M で、頻繁にデータの入れ替えが必要となる状況が平成 19 年 12 月の時点でも続いていた。

ホームページの作成は、いずれの学校でもホームページビルダーを利用している。また、更新は各校長の承認を経て FTP アカウントを利用してアップロードを行っている。

平成 18 年度から、佐野市教育センターにおいて、市内各小中学校の情報教育担当者を対象に、ホームページ運用研修を実施している。平成 19 年 8 月には各学校にホームページビルダー 10 を配付し、前年度に続き、作成ならびに運用に関しての研修を実施した。

平成 19 年 12 月現在の学校ホームページの開設状況
開設済 34 校(小学校 24 校、中学校 10 校)

【南中学校の場合】

(1) サーバ環境

佐野ケーブルテレビのサーバ

(2) ホームページの構成

トップページからそれぞれのページにリンク(沿革史、校歌、特色、学校紹介など)

(3) 更新頻度およびアクセス数

HTML 作成ソフトを利用して公開データを作成し、それを WWW サーバに転送する方式であったが、この方法では情報教育担当者のみに負担がかかり、担当者の異動に伴う Web ページの更新維持作業も困難となり、更新は 1 年に 1 度だけしか行われていなかった。

(4) その他

使用ソフトウェア：ホームページビルダー

3 CMSによるホームページの構築

【佐野市における全市一斉のホームページ構築】

(1) 構築に際しての配慮事項

- 1) 教育センターが窓口となり、佐野市立全小・中学校のホームページの管理が一括してできること
- 2) 各学校に必要最低限（200MB 以上）のサーバ領域を確保できること

(2) サーバ環境

民間業者のホスティングサーバを利用

（ホスティングサービスの内容）

- 1) メールアドレスサービス（メールアドレス発行可、ウィルスチェック、スパムメールチェック）
- 2) WWWディスクサービス（XOOPS利用可、FTPアカウント）
- 3) ディスク容量 10GB

佐野市においては、セキュリティ上の問題から行政のネットワークサーバにシステムを組み入れることができないため、ホスティングサーバを利用している。

(3) 構築作業（技術的内容）

佐野市内全小・中学校のシステムを一括管理する目的から、FTPアカウントは各小・中学校には発行せず、各小・中学校のシステム（38校分）を佐野市教育センターにて構築した。このうち、今年度、6小・中学校を調査研究の対象として、平成19年12月現在、システムが稼動している。

なお、初期導入に際し、栃木県総合教育センターの委託業者に依頼し、38校及び佐野市教育センター分のNetCommons1.0.10によるホームページを構築した。平成19年12月現在では、市の情報政策課に依頼し、FTPを利用できる状態となったため、システムのアップロード、CGIの利用など、佐野市教育センターにおいてサーバ管理を行う事ができるようになっている。今後、動作確認を行い、全校NetCommons 1.1.2へアップロードを行う予定である。

(4) 構築のポイント

佐野市内全小・中学校のシステムを一括管理する目的から、FTPアカウントは各小・中学校には発行せず、各小・中学校のシステム（38校分）を佐野市教育センターにおいて構築した。

ただし、調査研究の内容によって学校にアカウントを発行し、活用をお願いしている。（平成19年12月現在1中学校へ配付）

佐野市教育センター管理のサーバにおいてシステムの一括管理を行うことにより、システムのアップロード、迷惑メール対策のCGIの利用などを学校に代行して行う事ができるとともに、市内の小・中学校で共通した運用を行う事ができる。

【サーバ環境】

バージョン情報	
OS	FreeBSD 6.1
Perl	5.8.8
PHP	5.0.4/4.4.2/4.4.1/4.3.11
Python	2.4.3
Ruby	1.8.4
MySQL	4.0.24 (port 3306) / 5.0.26 (port 3307)
PostgreSQL	8.1.4 (port 5432)
httpd	Apache/1.3.34 Ben-SSL/1.57 (Unix)
MTA	qmail 1.03

【各学校での運用に向けた佐野市としての取り組み】

佐野市教育センター情報教育調査研究委員会の平成 19 年度の研究テーマを「開かれた学校づくりを推進するための学校ホームページの活用について」とし、市内各小・中学校から6名の調査研究委員を選出、委嘱した。

調査研究員会では栃木県総合教育センターの研究と連携を図りながらシステムの構築を行うとともに、運用に向け、市内小・中学校で共通して利用することを目的とし「学校 Web サイト作成に関するポリシー」ならびに「schoolnet-sano.jp システム」運用規定を作成した。

また、システム構築後、平成 19 年8月に栃木県総合教育センター委託業者を招聘し、佐野市役所葛生庁舎にて、調査研究委員6名を対象に研修会を開催した。(別添写真参照)

なお、佐野市教育センターを中心に、調査研究委員会では今後の一斉導入に向け、以下のことを実施した。

- ・ システムの構築(全 38 小・中学校分)
- ・ ポリシーなどの作成(資料データ添付)
- ・ 研修会の実施(資料データ添付)
- ・ 迷惑メール対策としてのメールフォームの作成ならびに設置 (資料データ添付)

【南中学校の場合】

(1) ホームページ設計

NetCommons の基本フレームをもとに、学校生活の様子や、学校紹介など、誰でも閲覧できるページと、ID とパスワードを入力しないと閲覧できないページに分けることで、生徒氏名の載っている各種たよりの閲覧を制限した。

(2) 作成作業（技術的内容）

基本的な骨組みは、情報担当者が作成し、以降の記事更新や、各種たよりのアップロードは、それぞれの担当者が随時更新していく。

(3) 運用体制

校内研修

- ① 原案を元に作成に関するポリシー（ガイドライン）の作成（8 月上旬）
- ② 運用に関する組織ならびに運用規定の作成（8 月上旬）
- ③ 保護者への通知の検討（8 月中旬）
サイトの新規開設についてのお知らせ、サイトに掲載する写真についての許諾
- ④ 作成に関するポリシー・運用規定の起案（8 月中）
- ⑤ サイトの完成ならびに起案（8 月中）
- ⑥ サイトの開設について職員会議にて提案（8 月 31 日）
職員への ID ならびにパスワードの発給（8 月 31 日）
- ⑦ サイトの登録を教育センターに依頼（市ホームページならびに「日本の学校」）（9 月 3 日）
- ⑧ 保護者宛通知の発送（9 月 7 日）
- ⑨ サイトの運用（随時更新開始）
- ⑩ 職員への研修会の実施
職員対象「NetCommons」の利用に関する研修（9 月中）

作成者対象モジュール活用研修の実施（9月中）

- ⑪ サイト閲覧の記録の確認ならびに運用組織などの見直し（11月）

（4）運用のポイント

- ・ 校長が「管理者」となり、各担当が更新した内容をチェックし、承認することで公開していく。
- ・ 学校行事や、学校生活の様子などについて、その日のうちに記事を書き、校長の承認を得られるようにする。
- ・ 南中の場合、校長が1日1回以上ホームページを閲覧しており、新しい記事があればすぐに掲載している。また、休日に記事を更新したときなど、電話で承認を得たこともあった。いずれにしても、学校ホームページを運用していく上で、管理職の理解が得られたことは、大変ありがたい。

5 活用事例

【南中学校の場合】

（1）ホームページデザイン

○ 随時更新するページ

- ① 南中NEWS（お知らせ、今日の出来事、第1学年、第2学年、第3学年、生徒会活動、部活動）
 - ・ お知らせ
 - ・ 更新履歴
 - ・ 各記事
- ② 行事予定・生徒会活動・部活動など
- ③ 各種たより：ログインして南中コミュニティから閲覧（ID、パスワード必要）
 - ・ 学校通信「南十字星」（1号、2号、・・・・・・）
 - ・ 1学年だより「みなみかぜ」（4月号、5月号、・・・・・・）
 - ・ 2学年だより「かけはし」（4月号、5月号、・・・・・・）
 - ・ 3学年だより「虹」（4月号、5月号、・・・・・・）
 - ・ 生徒指導だより「紙風船」（1号、2号、・・・・・・）

○ 年1回更新するページ

- ① 学校基本情報（所在地など）
- ② 学校概要（学校紹介）
 - ・ 校長あいさつ
 - ・ 学校教育目標
 - ・ 学校像
 - ・ 生徒像
 - ・ 生徒の指標
 - ・ 生徒数・学級数・職員数
 - ・ 学校施設案内（学校略図、学校平面図）
- ③ 校歌
- ④ 沿革・歴史（南中学校の歴史）
- ⑤ 特色ある教育活動
- ⑥ 教育計画・研究
 - ・ 年間行事予定
 - ・ 研究成果報告



(2) モジュールの活用例

【日誌】

- ・ 南中 NEWS (今日の出来事)

【お知らせ】

- ・ 南中 NEWS のお知らせ
- ・ 各種たより (学校だより、各学年だより、生徒指導だよりなど) (PDFファイル)
- ・ 学校概要 (校長あいさつ、学校教育目標、学校像、生徒像、生徒の指標、生徒数・学級数・職員数、学校施設案内 (学校略図、学校平面図))
- ・ 校歌、沿革・歴史 (南中学校の歴史)、特色ある教育活動

【カウンター】

- ・ 来訪者カウンター

【カレンダー】

- ・ 行事予定

【新着情報】

- ・ 更新履歴

【iframe】

- ・ このサイトへのご意見 (CGIの利用) ホームページに学校のメールアドレスを載せることは、ダイレクトメールや迷惑メールの受信など、様々な面で問題が生じてくる。メールアドレスの流出・不正使用の防止を考慮し、メールアドレスを表示しない CGI によるメールフォームを作成し、それを「iframe」

機能で取り込むことにした。これにより、学校のメールアドレスが直接流出する危険性はなくなり、閲覧者の意見や感想を送信してもらえるようになった。

【キャビネット】

- ・ 学校からの配付物「PDF ファイル」

(3) 【GroupRoom】の活用例

- ・ 各種たより (学校だより、各学年だより、生徒指導だよりなど) 「PDF ファイル」の閲覧は、【MyRoom】 (南中コミュニティ) で行い、ログインしないと閲覧できないようにした。また、閲覧に必要なIDとパスワードは、各種たよりに記載し、南中関係者 (職員、生徒、保護者) のみが閲覧できるようにしている。パスワードは年度ごとに変更していくことで、卒業生やその保護者などの閲覧を制限できると考えている。

○当ホームページに関するご意見や感想、ご質問は下記にご記入の上、送信ボタンを押してください。

☆ 南中学校宛メール送信 ☆

お名前:

所属: ☒ 本校保護者 ☐ 校区内在住 ☐ 校区外

e-mail:

件名:

本文:

※ すべての項目にご入力下さい。

※ご質問に関しましては返答できない場合もありますことご了承下さい。

トップページ

MyRoom

GroupRoom

▼南中コミュニティ

■GroupPage

言語の選択: Japanese

レイアウトモード ON

あなたは 1000000 人目です

2 人のユーザが現在オンラインです。

ログインユーザ: 1

南中学校

☒ ログアウト

☒ 携帯版HPアドレス

南中通信「南十字星」

南中通信

『南十字星』

サザンクロス

2007.10.18 9号.pdf

2007.10.1 8号.pdf

2007.9.14 7号.pdf

2007.7.20 6号.pdf

2007.6.29 5号.pdf

2007.6.4 4号.pdf

2007.5.16 3号.pdf

2007.4.25 2号.pdf

2007.4.16 1号.pdf

6 まとめ

(1) メリットとデメリット

○ メリット

【佐野市として】

教育センター管理のサーバでシステムの一括管理を行うことにより、システムのアップグレード、迷惑メール対策のCGIの利用など、学校に代行して行う事ができるとともに、市内の小・中学校で共通した運用を行う事ができる。また、管理用IDならびにパスワードを発行しているため、学校の要請に応じシステムの変更を行う事ができる。

CMSを利用することにより、Web上で更新が可能になる。学校のパソコン教室を利用した研修会などでも更新が実体験できることは大きい。

アクセス解析プログラムなどを設置することにより、閲覧者の動向を把握することができる。学校に更新などを依頼するときの参考となる。

コミュニティサイトを開設することにより、各学校の先生方が、研修テキストの送付、研修結果の報告、報告書の提出などのやりとりにおいて、グループウェア的な利用が可能になる。

【佐野市教育委員会のコミュニティサイト】

『Schoolnet-sano.jp』は佐野市内の小中学校に勤務する教員を対象としたコミュニティサイトです。

▼トップページ
●コミュニティ広場
●各種資料のDLはこちら

2007
12月22日(土)

お知らせ
過去 10 日間
新着情報はありません。

学校教育課からのお知らせ
○9月以降のパワーアップ研修の予定は以下のとおりです。
パワーアップ研修講座A(特別支援教育研修)
9/19、10/24、11/21、12/19
パワーアップ研修講座B(デジタル技術活用研修)
9/5、10/10、11/14
※会場等は直接お問い合わせください。
(86-3492)

教育センターからのお知らせ
○Refカラムに配置していましたログインモジュールを削除いたしました。
ログインの際はバナー右下のログインボタンをご利用ください。

○市学校Webページ作成研修会(8/17)、教育センターIT活用学習指導研修

『サイト管理者情報』
○名称 佐野市教育センター
○所在地 佐野市葛生東1-11-10
○電話 0283-86-3499
○FAX 0283-85-3039

あなたは現在何人目です
オンラインユーザー ▶ 1人
ログインユーザー ▶ 0人

NetCommons1.1.2にて作成

【学校として】

- ・ 分かりやすい構成であり、比較的抵抗感なく誰もが操作することが可能である。
- ・ 生徒の日々の活動の様子や学校行事について、生徒・保護者が素早く情報を得ることができる。
- ・ 教職員が簡単な操作で記事を更新することができるので、ホームページの更新率が飛躍的に高まった。
- ・ CMSを利用することにより、Web上で更新が可能になる。自宅や出先での更新が可能になるため、よりタイムリーに記事の更新をすることができるようになった。運動会の実施の決定や、台風による休校のお知らせなどが、より早く記載できるようになった。
- ・ ID とパスワードを発行し、[GroupRoom] を活用することで、氏名などが記載されている各種たよりの閲覧に制限を設けることができた。
- ・ 「サイトへのご意見」を設置することで、地域の方や、商業施設などから情報が寄せられるようになった。
- ・ ホームページの基本構成が共通であるため、異動があっても違和感なく使用できる。

○ デメリット

【佐野市として】

- ・ 現在のサーバの仕様（ディスク容量、アカウントの発行数など）では、学校側の要請（動画の利用など）に全て応えることができない状況がある。

【学校として】

- ・ ホームページのデザインについては、選択の幅が狭いため、CMSを利用したWebページは似たようなデザインになってしまう。オリジナリティが低くなる。
- ・ サーバの仕様の都合で、動画の利用などについては制限がある。

（２） 今後の課題

- ・ 全教職員が書き込むには至っておらず、更新する人が決まっている。なるべく多くの人で役割分担できるように、検討する必要がある。
- ・ NetCommons の新しいバージョンは、デザイン面などで選択肢が多く、使いやすさにおいても利点が多い。佐野市教育センターの動作確認の状況によると、バージョンを上げると、写真のリンクは引き継がれるが、PDF ファイルやその他のリンクが途切れてしまう不具合が生じたとのことである。このことは、ファイル名を半角英数字で設定することにより対応できたが、各CMSの公式ページにあるQ&Aなどを有効活用し、細部での更なる研究が必要である。



既存ホームページ+XOOPSで学校らしさを表現



既存のホームページの中で、頻繁に更新が必要な「最新情報」のページに限定して CMS を導入しています。学校らしさを表現するためによりカスタマイズ性の高い XOOPS を採用しています。XOOPS は別サーバに構築し、2 台のサーバを併用する環境で運用しています。訪問者の要望について、詳細に分析するためのアクセス解析やホームページの評価についても研究しています。各高等学校の特長を表現し、ホームページの評価や地域性を活かしたホームページづくりに、大変参考になる事例です。38・39 ページのアクセス解析も参考にしてください。

- 1 **学校名** 県立栃木工業高等学校
研究協力委員 大崎 逸夫 教諭

2 従来のホームページ状況

(1) サーバ環境

- ・ I S P (ヨモギワールドインターネット) からホスティングサービスを受けている。
URL : <http://www.tochiko.ed.jp/>

(2) ホームページの構成

フレームを使い左右に区分した2画面構成で、左側がメニュー画面になっている。

(3) 更新頻度及びアクセス数

- ① 年度当初と学期に一度の更新に努めている。
- ② アクセス数は5年間で累計約 16 万件(一日平均約 90 件)

(4) その他

- ・ 担当者は教務部/情報システム管理系の担当者1名のみ
→ 素材集めからページ制作・稟議・アップロードまですべてを担当しており、更新も滞る状態である。

3 CMSによるホームページの構築

(1) サーバ環境

- ・ 2007 年3月末に既存のサーバと別に、もう一台CMS専用にサーバ(SunOS5.8)を、無料で提供を受けた。

URL : <http://cgi.tochiko.ed.jp/>

(2) 構築作業(技術的内容)

- ・ 使用ソフト名
 - ① WWW サーバソフト : Apache 1.3.28
 - ② データベース : MySQL 2.2.3.57
 - ③ スクリプト言語 : PHP 4.3.2
 - ④ CMS : XOOPS 2.0.16a JP
 - ⑤ アクセス解析ソフト : ApachLogViewer 2.9.5
- ・ フリーウェアのターミナルソフト「UTF-8 TeraTerm Pro」をインストールし、パーミッションの設定など必要な作業を行ったが、UNIX系サーバのオペレーション技術が不足していたため、構築に非常に手間がかかった。約2ヶ月で基本的なモジュールの設定を完了し、デモ版の発言確認が出来た。教職員へも会議でCMSによるサイトの構築を説明し、管理職の承諾を得て、平成19年10月に正式に公開した。

(3) 構築のポイント・・・「既存のWebサイト+CMS(XOOPS)」

本校ではすでに公開しているコンテンツをそのまま継承し、頻繁に更新の必要な「最新情報」のページに限定してCMSを導入し、再構築することを試みた。

- ① 学校Webサイトの内容には、年に一度の更新で済むものと、頻繁に更新すべき内容がある。

前者は既存のサイトをそのままトップページとして利用し、後者（「最新情報」のページ）は今年度新たにCMSで構築し、2台のサーバを併用する環境とした。メインページの「最新情報」のボタンをクリックするとCMS画面へジャンプする構成とした。また、後者については保護者などを主な閲覧者としての対象とし、最新情報として日々の学校の様子を伝えていく予定である。

- ② CMSの中でも「XOOPS」を選択した理由は、「学校らしさ」を表現するためである。ある程度のカスタマイズが可能なので、既存のWebページのイメージを継承できた。

2 CMSによるホームページの運用

(1) ホームページ設計

- 平成19年7月に本校で開催されたPTA支部会時に、参加した保護者へアンケート調査を実施した。200名を超える全回答者のWebページに関するデータを集計したところ、半数以上が1ヶ月に一度の更新を希望していることがわかった。また、保護者から要望を反映して使用するモジュールは①【カレンダー】、②【ニュース】、③【アルバム】の3種類とした。

(2) 作成作業(技術的内容)

- ① アクセス解析について

- アクセス解析は本校内からのアクセス数を除外する必要があると判断し、単にアクセスカウンターに頼らず、既存のサイトはプロバイダに依頼して「アクセスログ」をダウンロード出来るようにしてもらった。FTPでダウンロードしたデータを下記のフリーソフトで解析し、閲覧状況を考察した。このソフトはIP別の選択集計が可能でとても便利である。一方、CMSで構築したページはアクセス解析モジュールをインストールしているが、本校内からのアクセス数を除外するためには、csv形式で出力したデータを改めて集計しなければならない。

- 既存サイトのアクセス解析・・・ApachLogViewer 2.9.5 (フリーソフト)
- CMS構築サイトのアクセス解析・・・Anlyzer 3 (高機能アクセス解析モジュール)

- ② セキュリティについて

- CMSを構築したWWWサーバを安全に管理するには、高度な専門スキルが必要であり、非常に不安を抱えている。また、XOOPSなどCMSは大抵DocumentRootの下に、すべてのファイルを展開するかたちになっており、かなり危ない状態にある。インクルード専用のファイルをディレクトリにアクセスされることで、思わぬ脆弱性につながる。したがって、悪意ある攻撃からサイトを守るためのXOOPS_TRUST_PATHを設定し、下記のセキュリティ対策モジュールをインストールしているが、それでも十分とはいえない。

- CMS構築サイトのセキュリティ対策・・・Protector(Xoops Protector)Ver.3

(3) 運用体制

- ① 来訪者を閲覧のみの「ゲスト」、ニュースなどの投稿が可能な「登録ユーザ」、投稿を承認できる「管理者」に区分した。管理者には校長、教頭、教務主任、運用責任者のみに設定し、一般教員は登録ユーザとした。現在のところ職員以外は登録しない方向である。
- ② 新しいコンテンツは各行事などの担当者が出来るだけ早く記事にして投稿し、承認権限のある管理者ユーザにも速やかに承認してもらうように依頼している。

(4) 運用のポイント

- ① まず素材の提供依頼から多くの教職員に関わってもらい、意識向上を図り、組織としての運営体制を確立したい。自分の書いた記事がすぐさまWebページに表示されれば、モチベーションも高まるので、承認は出来るだけ早いほうが望ましい。
- ② 平成19年11月に現職教育（自主研修）として「ホームページ作成講習会」を開催し、本校教員の半数以上（33名）の参加を得た。

3 活用事例

(1) ホームページデザイン

- ・ 既存Webページのイメージを出来るだけ継承したいと考え、現在のテーマを選定した。

(2) モジュール活用例

- ・ **【ニュース】** や **【アルバム】** の「カテゴリ」に本校の特長である「タイボラ」や「ものづくり」、そして保護者から要望の最も多い「進路指導」を追加した。

4 まとめ

(1) メリットとデメリット

○ メリット

- ・ ブログ形式の画面構成で分かりやすく、操作性も良好である。
- ・ 必要最小限のモジュールを導入しているが、機能としては十分である。評価のために **【アンケート】** や **【掲示板】** モジュールの導入を検討している。
- ・ 記事の投稿は従来の方法に比べて飛躍的に改善された。非常に更新が手軽になり、組織化までは出来なくとも協力体制は整いつつあり、**たった一人で管理していたWebサイトが、多くの先生方の手でつくり上げられていくようになる。** また、評価方法を工夫する必要があるが、発信する苦労もそれらがきちんと評価されればやりがいにもつながり、教育活動全体の活性化へも波及する。

○ デメリット

- ・ **【アクセスカウンター】** の表示がシンプルではない。
- ・ 記事などの承認が校長・教頭の2名に限られているので、やや承認までの時間がかかる。リアルタイム性を追求したいが限界も感じる。

(2) 今後の課題

① 双方向の情報発信

- ・ 開かれた学校として、**一方的な情報発信であってはいけないので、【アンケート】** モジュールを設置して来訪者の声を反映するなど、より良いコンテンツ制作に努力したい。また、そのためにも **【掲示板】** 機能は現在設定していないが、今後例えばPTA本部役員または希望する保護者にもアクセス権を付与し、インストールする必要もある。さらに、地域の中学校などにもアクセス権を付与し、評価してもらう事も重要である。

② リアルタイム性の向上

- ・ より多くの来訪者を獲得するには日々の学校の様子をリアルタイムでアップロードしたい。そのためにも、携帯電話対応のページ（写メールBBS）や **【RSS】** についても導入していきたい。

③ 高校としての特色づくり

- ・ 進路を検討している生徒に対して、**学校の特色をアピールしていきたい。** また、地域の天気予報など地域性も強調出来るコンテンツづくりに取り組みたい。

④ セキュリティーとバックアップについて

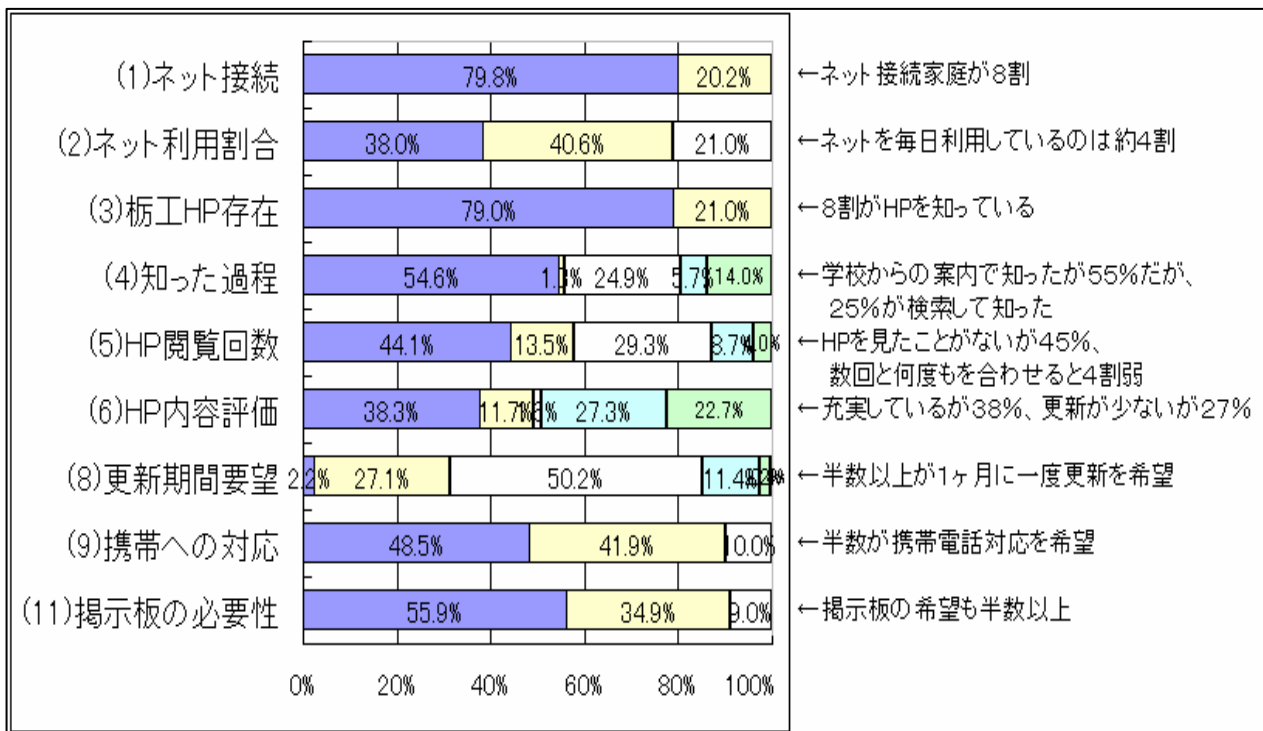
- ・ UNIX系サーバーのオペレーション技術が不足しており、セキュリティの問題やモジュールのアップデートにも不安がある。また、データベースのバックアップについても今後の課題である。

⑤ 校内研修の充実

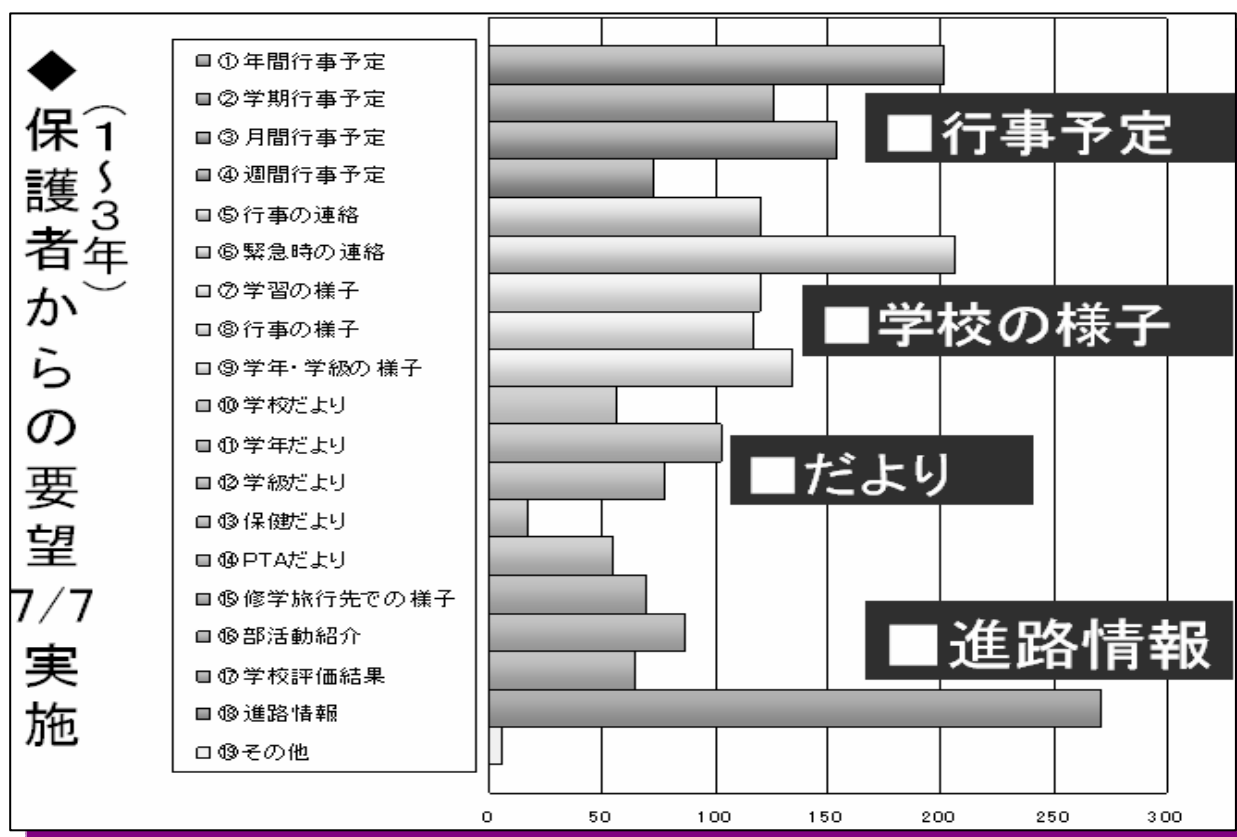
- ・ ホームページ作成講習会なども開いたが、特に画像の編集方法が難しく、さらに各種だよりの電子文章化（PDFファイル化）についても講習内容に含みたい。

⑥ 評価方法の工夫

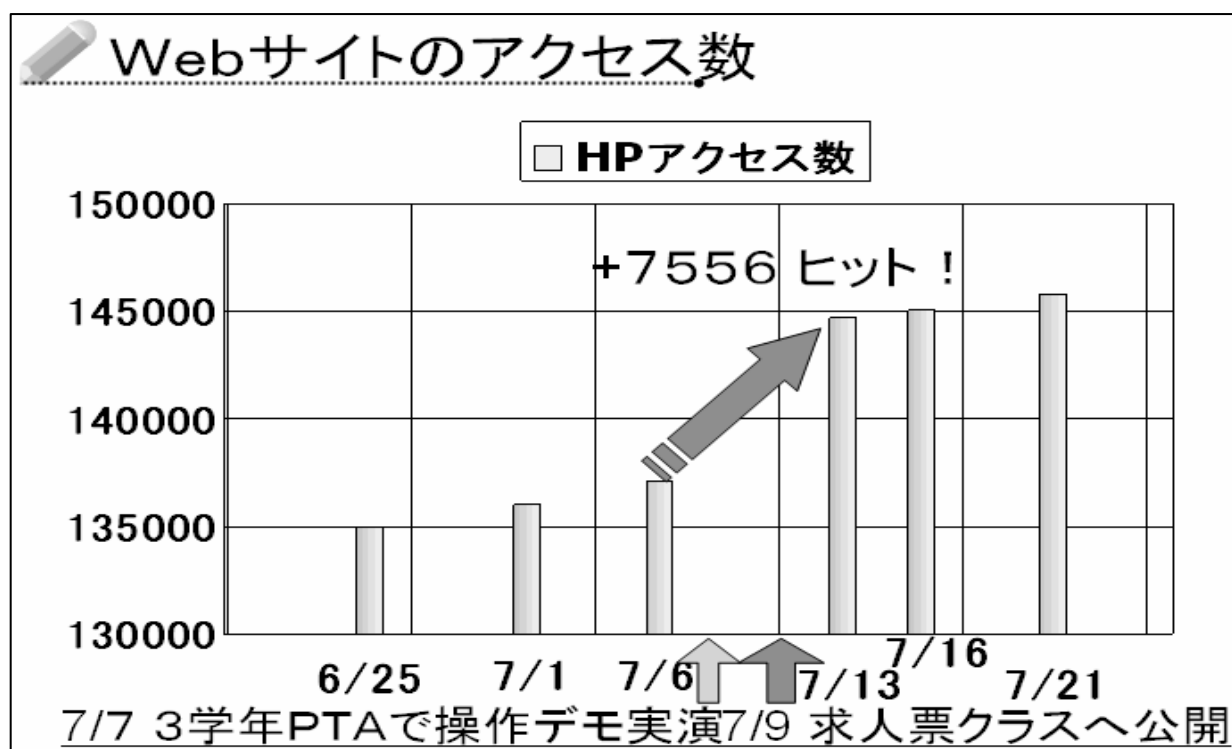
- ・ より良い学校Webサイトを構築し、継続していくためには評価が必要不可欠である。【アクセスカウンター】やアクセスログから接続状況を判断するだけでは不十分であり、設定方法（接続とみなす時間の設定など）によっては確実なデータが得られない。大まかな傾向は把握できるものの、やはり評価を得る対象（保護者、生徒、地域、教育関係者、教職員など）に合わせて、Web上の【アンケート】や【掲示板】、またはアンケート用紙を使うなど評価方法についても工夫・改善が必要である。



【参考 1】保護者へのアンケート調査結果（7月7日実施 229 名分）



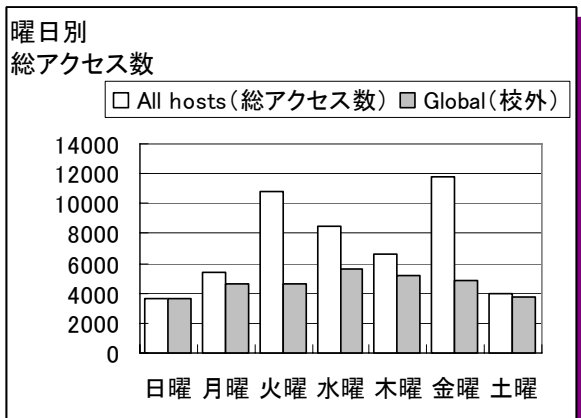
※ 具体的な要望内容としては、「行事予定」や「学校の様子」が多いが、最も多いのは「進路情報」であった。



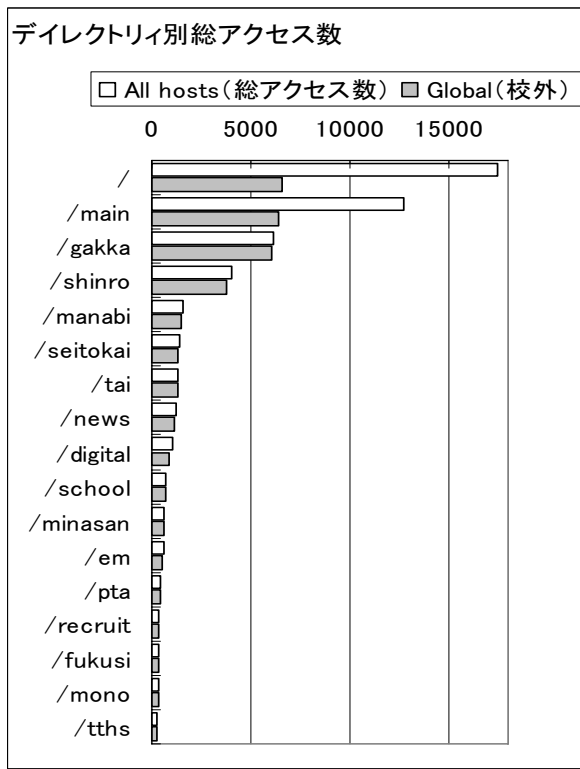
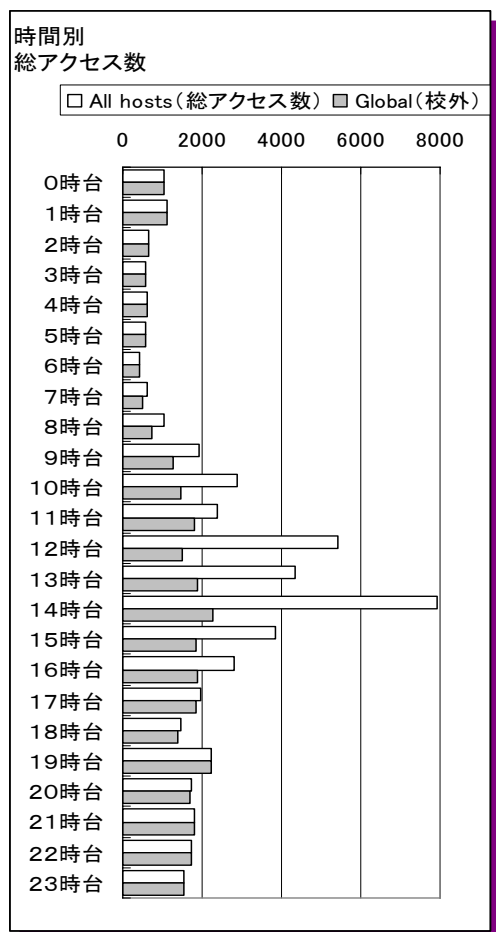
※ CMS導入前のアクセス数の推移であるが、求人票の公開（パスワード付加）に伴って、アクセス数が急激に伸びており、上述の裏づけになっている。

【参考 2】アクセス解析結果（既存の学校Webサイト <http://www.tochiko.ed.jp>）

- ①解析期間 2007/9/19（水）～2007/11/20（火）の63日間
 ②アクセスログにおける総アクセス数 50660（804.1/日）
 ③校外からのアクセス数 32416（514.5/日）
 ④校外からのアクセス割合 64.0 %
 ⑤ブックマーク数 1878件（134.2/日）
 ⑥アクセスカウンターの増分（トップページ）8456（総アクセス数の約1/6になっている。アクセスカウンターはトップページにあり、検索などで直接該当のページにアクセスしたケースがカウントされていない。）



※ 火曜日、金曜日は、4～6時間目にパソコン利用の授業があるため総アクセス数が多い。



※ /、/mainはトップページ

- /gakka・・・各科の紹介
- /shinro・・・進路情報
- /manabi・・・学び方の案内
- /seitokai・・・生徒会活動
- /tai・・・タイ王国ボランティア活動
- /news・・・最新ニュース
- /digital・・・デジタルパンフレット
- /school・・・学校生活案内
- /minasan・・・中学生向け情報
- /em・・・校内向け緊急情報
- /pta・・・PTA活動
- /recruit・・・企業向け就職案内
- /fukusi・・・福祉活動
- /mono・・・ものづくり活動
- /tths・・・学校の沿革



NetCommons モジュール、アンケート機能の活用



NetCommons を採用し、新規にホームページを構築しています。アンケート機能の活用や学校評価結果の公開についての研究を行っています。一方向の情報発信ではなく、今後主流となるであろう双方向の情報交換による、評価を活かした学校ホームページや学校運営のあり方について展望するとき、大変参考になる取り組みです。また、複数学科の活動の様子なども、CMSの機能を活用して複数の先生方で業務負担を分散しながら運用しています。ホームページの利用者に対するアンケート結果や、学校評価の公開に対するアンケート結果なども、参考にしてください。

- 1 **学校名** 県立那須拓陽高等学校
研究協力委員 松本 尚浩 教諭

2 従来のホームページ状況

(1) サーバ環境

OCN のホスティングサービス

(2) ホームページの構成など

従来のホームページは、諸事情により「工事中」となっていた。

3 CMSによるホームページの運用

(1) サーバ環境

OCN のホスティングサービス

ただし、従来の契約プランでは、データベース機能が利用できないため、**プラン変更**を行った。

(2) 構築作業

当初、8月に発表された NetCommons Ver.1.1 を導入したが、管理者の画面を呼び出すことができず、Ver.1.0 でインストールし利用している。Ver.1.1 の不具合の原因は不明のため、Ver.1.1 へのアップグレードは考えていない。

4 CMSによるホームページの運用

(1) ホームページの設計

ホームページは一からの制作となるため、できるだけシンプルな構成にした。

(2) 作成作業（技術的内容）

骨組み部分は、情報担当者が全て作成。

(3) 運用体制

校長が責任者。各コンテンツの担当者が更新した内容を、教務部副部長をチーフとしたホームページ承認係がチェックする。承認係で可否の判断が難しいものは、管理職に委ねる。

(4) 運用のポイント

学校行事などのタイムリーな話題は、できるだけ早く承認係にチェックしてもらう体制を維持する。



5 活用事例

(1) ホームページデザイン

学校案内、学科紹介、部活動紹介、生徒会活動、農業クラブ活動、家庭クラブ活動、部活動日誌、農場便り、普通科 blog で構成される。特に、部活動日誌、農場便り、普通科 blog は、管理者以外の教員でも、更新できるようになっている。

(2) ホームページの活用例

① 本校ホームページの利用者について

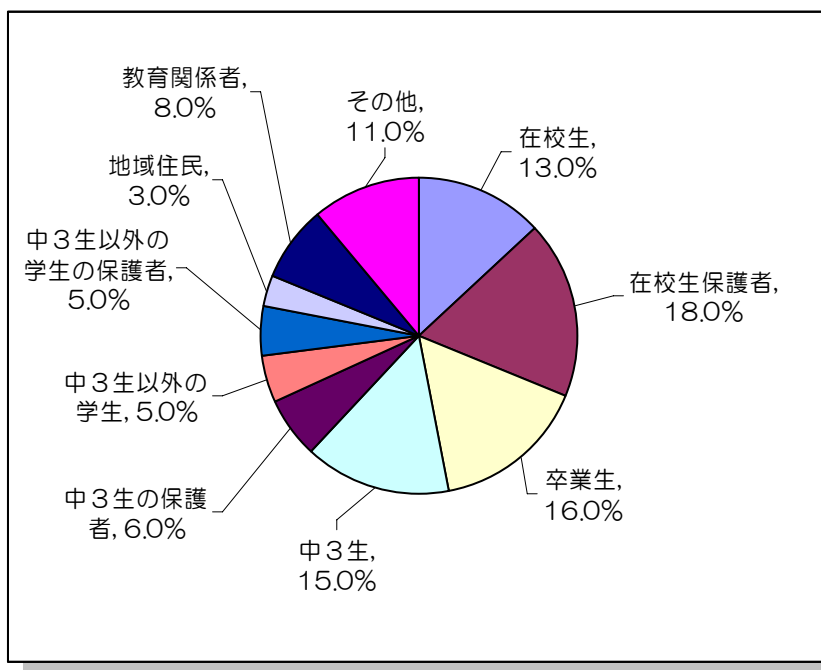
平成 19 年 10 月にホームページを開設し、平成 19 年 12 月 20 日現在で約 6100 件のアクセスがあった。どのような人がアクセスしているか調査をするため、トップページにおいて次のようなアンケートを行った。

<質問>

参考のために、あなたの立場に一番近いものを選んでください。

<選択肢>

在校生、在校生の保護者の方、卒業生の方、中学 3 年生、中学 3 年生の保護者の方、中学 3 年生以外の学生、中学 3 年生以外の学生の保護者の方、地域住民の方、教育関係者、その他



<集計結果> 回答総数 104 件

中学 3 年生とその保護者のアクセスを合わせると 21%になる。進路研究の一環としてホームページの閲覧を利用していると推測される。

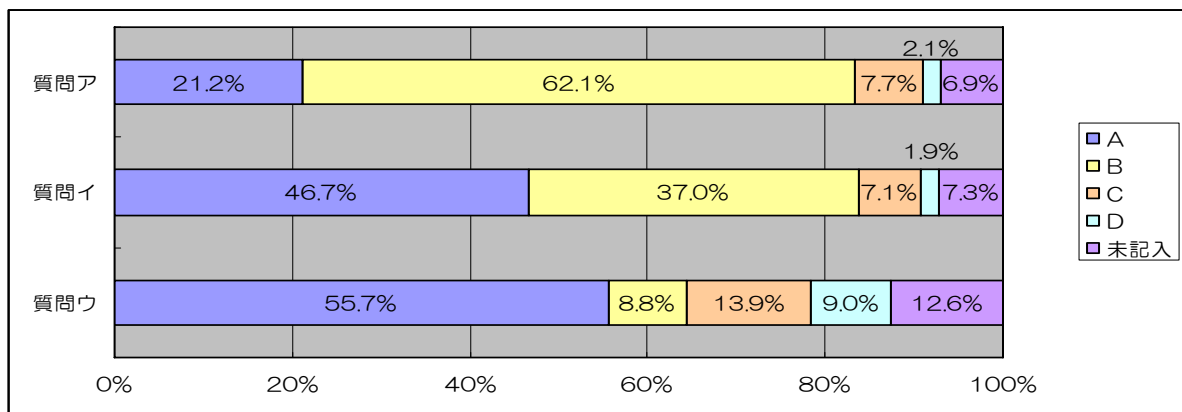
② ホームページにおける学校評価の公表について

平成 19 年 11 月 19 日から平成 19 年 12 月 15 日の約 1 ヶ月間、昨年度の学校評価の結果をホームページ上に公開した。保護者のみ閲覧できるように、ユーザ、パスワード設定を行った。この設定は OCN ホスティングサービスの機能である。全保護者にアンケートを配付して回収した。

<質問と選択肢>

- ア 学校評価を公開することに対し、どのようにお感じになりますか。
- A 大変良いことだと思う。 B 良いことだと思う。
- C あまり良いことだとは思わない。 D 良いことだとは思わない。
- イ 学校評価の公開の範囲については、どのようにお考えでしょうか。
- A 関係者などを問わず、すべてに公開した方が良いと思う。
- B 学校評議員・生徒・保護者・同窓生など、学校関係者だけで良いと思う。
- C 公開の必要はないと思う。 D その他（自由記述欄あり）
- ウ 公開する内容について、どのようにお考えですか。
- A 昨年度のような詳しい公開内容で良いと思う。
- B 分析・検討のコメントはなくても良いと思う。
- C 数値のみの公表で良いと思う。 D その他（自由記述欄あり）

<集計結果> 回収総数：467 件



学校評価の公表については、8割以上の保護者が好感を持っている。質問イについては、すべてに公開した方が良いと考えている保護者が半数近くいる反面、関係者のみでも良いと考えている保護者も37%いる。公開の内容は、分析・検討が記載されている詳しい公開内容が良いと考えている保護者が半数以上いる。その他を選んだ保護者が9.0%いたが、具体的にどのような内容が良いのかを記入している保護者はいなかった。

6 まとめ

(1) メリットとデメリット

シンプルな構成で分かりやすく閲覧しやすい。ただし、デフォルトの文字サイズが小さいのではという意見があった。

ほぼ真っ白な状態からホームページを作成した本校にとっては、必要な機能がほとんど揃っていると感じた。特に、**【日誌】**を更新すると、自動的に**【新着情報】**に表示される点ありがたい。また、以前に用意してあったHTML形式のファイルを**「iframe」**機能で利用できる点も、大変有効である。現在のところ、**【日誌】**などを更新した際の承認は、大変スピーディーに行われており、その日の様子をその日のうちに公開できるので、**タイムリーな話題を公表**することができる。

CMSは、HTMLの仕組みなどを理解していなくても、ホームページの更新を行うことができる点が最大のメリットである。初期の設定さえ行ってしまうと、コンテンツの更新を行うことは、ワープロソ

フトを利用できる人であれば操作できる。実際、本校ホームページの部活動日誌や農場便りを更新している教員は、ホームページに関する特別な知識を持っていない。10分程度のアドバイスで、一人で更新できるようになった。ただし、いつでも質問を受け付けたりアドバイスを与えたりするような環境であるため、安心して更新しているという状況にあり、管理者以外にもCMSの仕組みを理解している人間が増えれば、管理面での負担が軽減されるだろう。

本校は、ほぼ最初からCMSでホームページを作ったせいか、内容的な面などで、ほとんどデメリットは感じられない。

(2) 今後の課題

平成19年12月現在、本校で利用しているNetCommonsの仕組みを理解している者は一人しかおらず、コンテンツの初期設定や、会員管理などをすべて一人で行っている。そのため、担当者が不在の場合や、もし担当者が異動などで本校を離れることになったときに、ホームページ管理の大きな問題があった、作った人しか分からないという事態はこれからも起きる可能性はある。しかしCMSは、今までのホームページ作成用のソフトのような複雑さはあまり感じられず、管理者の育成も簡単である。

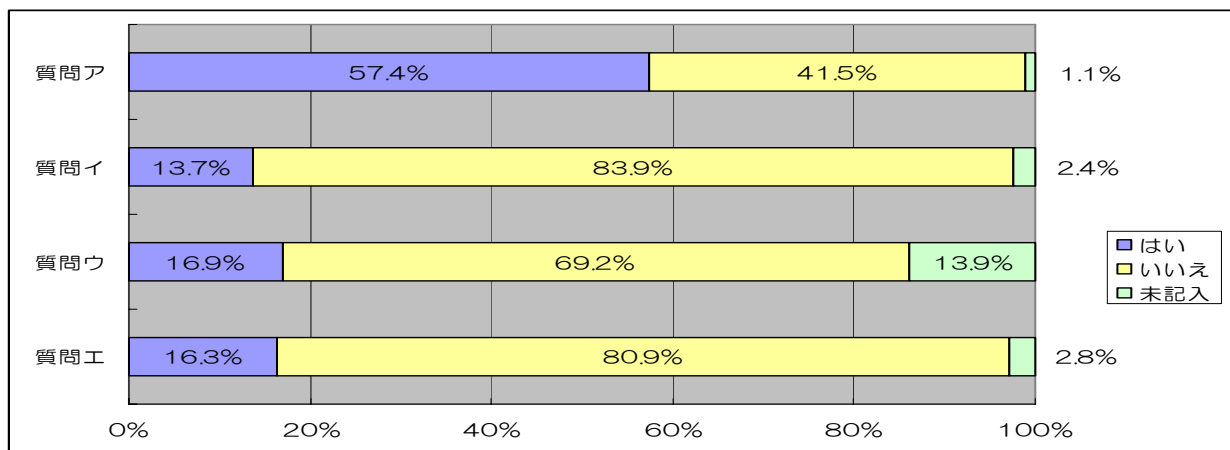
CMSへの移行を積極的に行うのであれば、研修などでCMSの操作方法などを学び、CMSの仕組みを理解した教員を増やしていく必要があると思われる。

－ 参考データ －

本校のホームページについて、全保護者に対し以下のようなアンケートを行った。

＜質問＞ 回答はすべて「はい、いいえ」の選択肢である。

- ア 御自宅でインターネットを利用できますか。
- イ 本校のホームページを御覧になったことがありますか。
- ウ 「イでいいえを選んだ方に」本校のホームページがあることを御存じですか。
- エ 他の高校のホームページを御覧になったことがありますか。



＜集計結果＞

半数以上の家庭でインターネットが利用できる反面、約4割が利用できない環境にある。県北では広帯域接続のエリアがまだ広がっていないが、パソコンでインターネットを利用できなくても、携帯電話の普及によって、特に支障がないと感じている人が多いのではないかと推測される。また、本校、他校を含めて、高校にホームページがあることを知らない人が多いのではないかと、この結果から考えられる。どのように、ホームページの存在を周知していくかが課題である。

6 参考資料

調査研究の過程で作成したいいくつかの文書を、資料として掲載いたします。学校ホームページの新規立ち上げやリニューアルを進める際に、お役立てください。また、NetCommons の公式サイト<<http://www.netcommons.org/>>や XOOPS Cube 日本サイト<<http://xoopscube.jp/>>などの Web サイトにも、最新の情報が掲載されています。Q & A も利用できますので、是非、御活用ください。

- 「schoolnet-〇〇.jp システム」運用規定
- 〇〇町立〇〇小学校ホームページ公開ガイドライン
- 写真・ビデオの取扱いや部活動の大会成績などの公表について
- 教育活動における個人情報の取り扱いについて
- ホームページ ログインユーザ名及びパスワードについて
- 教員向け「HP作成講習会」資料
- アンケート質問項目例

「schoolnet-〇〇.jp システム」運用規定

〇〇市教育センター

1 運用について

1.1 目的及び適用範囲

(1) 本規定の目的

本規定は、「schoolnet-〇〇.jp システム」(以降システム)の効率的かつ安定的な運用を図ることを目的とし、システムの運用に係る項目の明確化を図るものです。

(2) 本規定の適用範囲

- ① 本規定は、システムを管理運用する〇〇市内の小・中学校教職員に適用します。
- ② ただし、事務局の許可を得た場合はその限りではありません。

(3) 利用するサーバならびにシステムについて

- ① サーバの管理は事務局である〇〇市教育センターが行います。
- ② 利用するシステムは国立情報研究所が開発した CMS「NetCommons」とし、事務局が管理するサーバ内に学校ごとに構築の上、利用します。なお、構築に関しては事務局が行います。

1.2 禁止事項

このシステムの利用に際して、次の各項目に掲げることをしてはなりません。

- (1) 法律に反すること
- (2) 公序良俗に反すること
- (3) 犯罪行為に結びつく恐れのあること
- (4) 他人の著作権などを侵害すること
- (5) 人権尊重の配慮に欠け、他人のプライバシー、財産などを侵害すること及び他人に不利益を与えると判断されること
- (6) 他人を誹謗中傷すること
- (7) 営利を目的としたこと及びその準備を目的としたこと
- (8) システムの運用を妨げ、あるいはシステムの信頼を棄損すること
- (9) その他、校長、所属長、及び事務局が不適当と判断すること

※ 学校 Web サイト作成に当たっては、各学校が定める「学校 Web サイト作成に関するポリシー」などを遵守してください。

1.3 システムの運用に関して

(運用組織)

- (1) このシステムの運用に関しては、学校の実情に応じ、組織的に運用を行います。

(公開に際しての責任者について)

- (2) 公開する記事の作成、および公開は、各学校での運用に係る最高責任者である校長が行います。なお、校長(以後「管理者」)は、数名の職員を「作成者」として任命し、記事の作成に係る事務を代行させ、承認により公開を行うことができます。

(アカウントならびにパスワードの発行について)

- (3) 「管理者」は初期設定を行う際、事務局から発行されたアカウント並びにパスワードを利用し、システムを稼動し利用者などの登録を行いアカウントならびにパスワードを発行します。その際、学校独自に、公開に際して承認権を持つ管理者のアカウントならびにパスワードを設定してください。

なお、アカウント並びにパスワードは管理者の責任で管理すると共に、管理者がその後の

システムの運用・管理に利用します。（パスワードは随時変更してください。）

※事務局が発行したアカウントならびにパスワードについては、事務局がシステムの管理に利用しますので、削除・変更を行わないようにして下さい。

2 セキュリティーと登録情報管理について

2.1 登録およびの登録情報の管理

(1)登録者の対象及び権限の設定

公開時のトップページ閲覧者は除き、このシステムを管理・運用するためには登録が必要になります。登録者の対象は原則として学校の職員ならびに児童生徒・保護者とします。登録は、管理者の権限にて行います。登録の際に必要なハンドルネームの設定は、保護者に誤解を受けないよう氏名もしくは、校務分掌名などで行います。

なお、登録は「管理者」の責任で行いますが、「管理者」は、1～2名の職員を「管理代行者」として任命し、登録情報の削除に係る事務を代行させることができます。

また、職員以外の登録をする場合には権限を「ゲスト」とし、サイトの作成など運用には携わらせないようにして下さい。

(2)登録情報の解除

職員の異動、児童生徒の卒業などで登録情報を解除する場合は、新規に登録を行うときと同様の方法にて、「管理者」が行います。なお、1～2名の職員を「管理代行者」として任命し、登録情報の削除に係る事務を代行させることができます。

(3)グループルーム（コミュニティサイト）の管理・運営

「管理者」から任命を受けた「管理代行者」はグループルームの運営を行う事ができます。新規にグループルームを作成する際には「管理者」の許可を得た上で、新規のグループルームを開設する事務を代行することができます。

2.2 システムの管理および変更

(1)アップロードについて

システム環境を維持するため、定期的にシステムのアップロードを行います。アップロードについては「管理者」の許可を得た「管理代行者」が事務を代行することができます。

(2)バックアップについて

不測の事態に備え、システム環境データならびに公開情報のバックアップを行います。バックアップしたデータは、外部記憶装置を使い記憶媒体（CD-R など）に保存して下さい。

なお、バックアップは「管理者」の許可を得た「管理代行者」が事務を代行することができます。

(3)システムの不具合について

システムの不具合が生じた際は、事務局である〇〇市教育センターに御連絡ください。また、軽微な障害もしくは、活用上のFAQ に関しては「NetCommons」のサイトのヘルプデスクを御利用ください。なお、ヘルプデスクの利用には「NetCommons」の利用者登録が必要になります。

3 運用に関する問い合わせについて

〇〇市教育センター

電話 0283-〇〇-〇〇〇〇

時間帯：午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分

※上記以外の時間帯については、e-mail にて『sa-kyoce@city. 〇〇.lg.jp』までお願いいたします。

〇〇町立〇〇小学校ホームページ公開ガイドライン

1 ガイドライン設定の目的

このガイドラインは〇〇町立〇〇小学校のホームページを公開するに当たり、適正な学校ホームページの運用のために必要な項目を定めるものとする。

2 ホームページ公開の目的

- (1) 学校情報を公開又は、共有し、社会のニーズである「開かれた学校づくり」「ICT 時代」「情報の公開」などに対応するため。
- (2) 教育活動の資産の蓄積のため。
- (3) 児童・教職員による情報発信及びコンピューター・リテラシー向上のため。

3 ホームページの管理者

ホームページの管理の責任者は校長とし、具体的な管理運営担当者は校長から任命された教員がその任に当たる。

4 ホームページ作成者

- (1) 本校に在籍する教職員・児童及びその保護者とする。
- (2) 児童が作成するページについては、担任あるいは情報・メディア教育担当者が指導する。その際、著作権などの知的所有権の侵害や他者への誹謗中傷、個人情報の管理などに十分に留意する。
- (3) 教職員や保護者がホームページを作成する場合は、管理者又は運営担当者が指導する。

5 関係法令などの遵守

- (1) 次に掲げる内容は掲載しない。
 - ・著作権・知的所有権・肖像権などの保護に関する法令などに違反したもの
 - ・公序良俗に反するもの又は教育上不適切なもの
 - ・個人・団体などに対して、誹謗中傷したり不利益をもたらしたりするもの
 - ・犯罪行為に結びつく恐れのあるもの又は法律などに違反するもの
 - ・営業又は売名を目的としたもの、政治活動又は宗教活動に関するもの
 - ・その他、校長又は教育委員会事務局が不適切と判断したもの
- (2) 児童の作品などを公開する場合は、児童及び保護者の了解を得るとともに、その作品などには著作権があることを表示する。
- (3) その他、県や町、教育委員会などのガイドラインを遵守する。

6 個人情報の保護

- (1) 児童の氏名は、原則として一般公開ページには表記しない。内部公開用のページであっても、必要がなければ表記しない。表記の必要がある場合には、事前に本人と保護者の承諾を得る。
- (2) 児童の住所、電話番号、生年月日、家族関係、保護者名などのプライバシーに関することは掲載しない。
- (3) 児童の個人写真の掲載については、個人がはっきりと分かる写真の場合、事前に児童及び保護者の承諾を得る。
- (4) 児童の作品の掲載についても、事前に児童及び保護者の承諾を得る。
- (5) 事前に承諾を得た内容であっても、児童及び保護者から訂正や削除の要請があった場合には、速やかに掲載内容を訂正あるいは削除する。

7 ホームページの公開

ホームページの掲載内容は、管理者及び管理運営担当者が確認し、内容が適正であることを判断した場合に承認・公開する。

8 日常の管理

日常の管理は、管理運営担当者が行い、ホームページの内容について、本ガイドラインに違反するものがあつた場合は、直ちに削除を行い、ホームページの適正化を図る。

また、掲示板などへの書き込みの内容についても管理し、適正でない書き込みが行われている場合は直ちに削除をする。

9 非常時の対応

本ホームページに問題が生じた場合は、管理責任者である校長及び管理運営担当者が協議し、適切な処置を行うとともに、関係機関への連絡を行う。

10 その他

- ・本ホームページはリンクフリーとするが、リンクの際に連絡するように表記する。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇小学校保護者 様

〇〇小学校長 〇〇 〇〇

写真・ビデオの取扱いや部活動の大会成績などの公表について

本校では、保護者の皆様や地域住民の方々と連携を図り、信頼と魅力のある学校を造るため、学校だよりやホームページなどで積極的に情報を発信しております。

つきましては、下記のとおり写真や部活動の大会成績などを公表させていただきますので、御理解をいただくとともに、御了承くださいますようお願いいたします。

また、報道機関の教育活動などの撮影についても協力いたしますので、御理解をお願いいたします。

記

1 目的

児童の生き生きとした活動の様子を保護者などに紹介するため、児童の活動中の写真・ビデオや作品、部活動の大会成績などを学校だよりやホームページなどを通して公表する。

2 公表内容

- ・学校行事などの教育活動中の児童の写真、ビデオ
- ・児童生徒が作成した作品
- ・部活動の大会成績など

3 提供先

- ・学校だより、各種学校通信をとおした提供は、本校保護者・関係自治会
- ・学級だよりをとおした提供は、当該クラスの全保護者
- ・ホームページをとおした提供は、閲覧者
- ・報道機関をとおした提供は、視聴者・読者

4 公表及び報道機関への対応の際の手続

- ・ホームページ上に個人がはっきりと分かる写真や個人名が掲載される場合は、関係する児童及び保護者に口頭で連絡し、承諾をいただいてから掲載します。なお、個人がはっきりと分からない写真の場合は、本人及び保護者の承諾をいただかずに掲載させていただきます。
- ・学校だより・学級だよりなどへの個人がはっきりと分かる写真や個人名の掲載及び報道機関での撮影につきましては、本書を持って承諾をいただいたものと判断させていただきますので、不都合がございましたら、担任を通じて御連絡ください。

〇〇中学校保護者 様

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇中学校長 〇〇 〇〇

教育活動における個人情報の取り扱いについて

〇〇の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のことと存じます。日ごろから、本校の教育活動に御理解・御協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、個人情報保護法の施行後も、個人情報の保護についてマスコミなどでもさまざまに話題となっております。本校としては、教育活動を遂行するために必要な個人情報について、いままで同様、下記のように取り扱いたいと思いますので御了承くださいますようお願い申し上げます。

記

1 教育活動を遂行するために必要な個人情報

- (1) 生徒の氏名・作品・表彰関係など、または生徒の写った写真・映像など。
- (2) PTA活動の写真・映像、およびPTA役員の氏名・原稿など。

2 個人情報を取り扱う機関団体

- (1) 〇〇中学校
- (2) 中学校体育連盟（〇〇中から氏名・記録などをプログラム用に提供することがあります。）
- (3) 中学校文化連盟（〇〇中から生徒の作品などを提供することがあります。）

3 個人情報の使用目的

上記の個人情報を下記に掲載する。

- (1) 学校行事（運動会・〇〇〇祭など）のプログラムなど。
- (2) 広報紙（〇〇中通信・学級だより・学年だより・PTA広報紙など）など。
- (3) 学校ホームページなど
- (4) 生徒会誌（「〇〇〇〇」）など。
- (5) 大会・コンクールなどのプログラム集、記録集及びホームページなど。
- (6) 〇〇中学校が制作するビデオ・CD・卒業アルバムなど。（入学式、卒業式、運動会、〇〇〇祭）など。
- (7) その他、本校の教育活動や対外的な文化活動に必要な広報など。

ここで述べたことは、従来おこなっていたことでもあります。今回、改めて確認させていただきましたが、このことについて、御意見・御質問のある方、また、承諾できない方は学校まで御連絡ください。（TEL 〇〇-〇〇〇〇 担当：〇〇〇〇）

また、卒業後は、最小限の個人情報の掲載にとどめたいと思いますが、教育活動の遂行に当たって必要な個人情報（例えば大会の記録など）は、掲載されることがあることもあわせて御了解いただければ幸いです。

なお、学校ホームページにつきましては、9月より新規開設しました。URLは、[http://www. 〇〇〇〇〇〇〇〇.jp/ 〇〇〇〇/](http://www.〇〇〇〇〇〇〇〇.jp/〇〇〇〇/)です。〇〇中通信、各学年だより、〇〇〇などを閲覧する際は、ユーザIDとパスワードが必要となります。

本年度のユーザIDは「〇〇〇〇」、パスワードは「〇〇〇〇」となります。ぜひ御覧ください。（パスワードは年度ごとに変更します。）

以上

ホームページ ログインユーザ名及びパスワードについて

〇〇の候、保護者の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、先日御通知いたしましたログインユーザ名及び、パスワードについてお知らせいたします。現在、ログイン内のページにつきましても掲載途中ではありますが、是非御覧いただき御意見・御感想などいただければ幸いです。

なお、ユーザ名・パスワードは定期的に変更していく予定ですが、その際には学年だよりなどを通して御連絡したいと思いますので、よろしくお願いします。

記

〇〇〇市立〇〇小学校ホームページアドレス [http://www. 〇〇.ed.jp/〇〇〇〇/](http://www.〇〇.ed.jp/〇〇〇〇/)

ユーザ名
パスワード

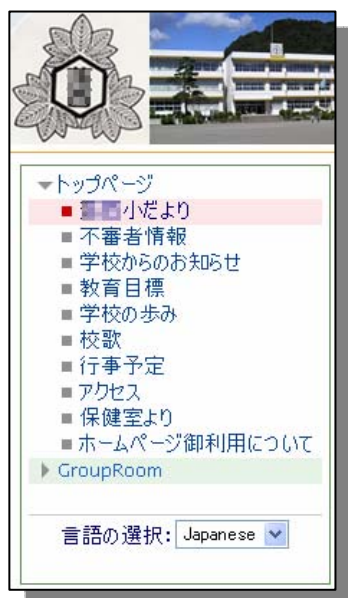
※ログインの仕方

ホームページのトップの画面左下に、「ユーザ名」・「パスワード」の入力欄があります。ここに上記、暗証番号（英数小文字）を入れ、緑で表示された「ログイン」のバーをクリックすると〇〇小学校のホームページ内に入ることができます。

また、携帯電話からアクセスする場合にも「ユーザ名」・「パスワード」の入力が必要になります。

① ログインし、GroupRoom
クリックします。

② GroupRoom 内に1～6年生のページが
掲載されています。



※GroupRoom 内には、1～6年生までの学年のページが掲載されていますので御覧ください。なお、今後このルームに掲載する内容を変更する場合がありますので御了承ください。

教員向け「HP作成講習会」資料

◆CMSでのHP作成ガイド

2008.00.00 現職教育

1 ログイン方法

- (1) サイトにアクセス・・・アドレスに `http://www.tochigi-edu.ed.jp/OOOO/` を入力する。
- (2) 左下の「ログイン」ブロックで別紙のユーザ名、パスワードはいつものでログインする。
(参考)
 - ①「登録ユーザ」・・・書き込みのみ可能、承認は出来ない。
 - ②「管理者」・・・書き込み可能、承認可能。
 - ③「ゲスト」・・・ログインしない場合は閲覧のみになる。

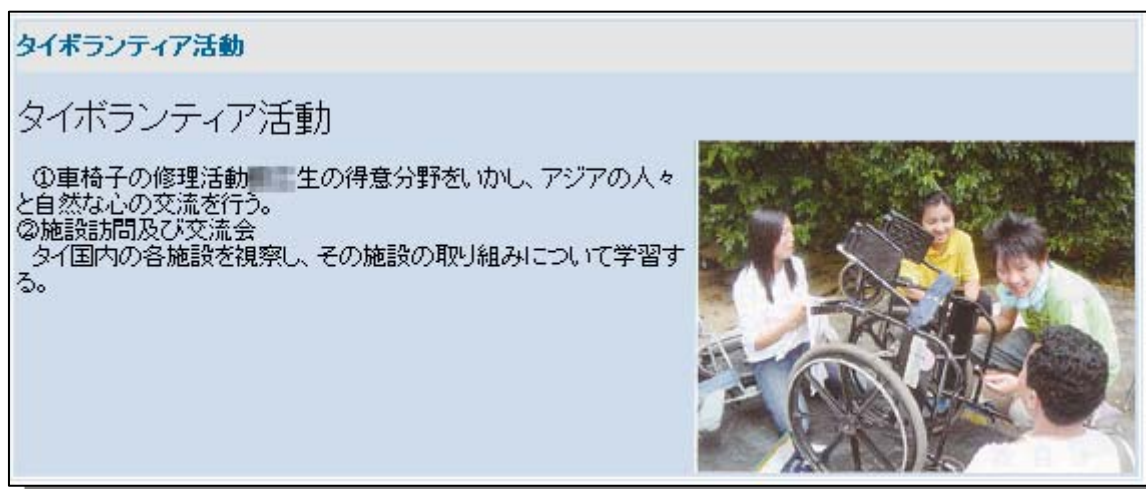
2 ニュースの投稿方法

- (1) 「メインメニュー」の「ニュース投稿」をクリック
- (2) 「表題」を記入し、トピックのカテゴリを選択する。
- (3) 強調したい文字がある場合は、大きさ・色などを指定し、「追加」ボタンで本文に挿入される。
- (4) 画像を挿入する場合
 - ①写真の準備
画像を使う場合はデータ量の制限があるので、サイズを予め調整する。
・・・ 320×240 ピクセル (10MBまで)
(参考) 画像サイズの変更の方法
・スタート/すべてのプログラム/Microsoft office/ Microsoft office ツール/ Microsoft office Picture Manger を起動する。
・右側の「作業の開始」/「新しい画像へのショートカットを追加」で画像選択し、画像の編集/サイズ変更で縮小する。
 - ②「イメージマネージャー」への画像登録
・「MANAGER」ボタンをクリックし起動する。カテゴリを選択して「送信」をクリック。
・「画像ファイルの追加」で「画像名」を入力し、「参照」ボタンでローカル(使っているPC)にあるファイルを指定し、間違いなければ「送信」ボタンをクリックする。この時サイズオーバーだと送信できない。
・「位置」で「右揃え」のボタンをクリックすると投稿の「メッセージ本文」に記述される。

The screenshot shows the 'ニュース投稿' (News Post) form. The '表題' (Title) field contains 'タイボランティア活動'. The 'トピック' (Topic) dropdown is set to 'タイボラ'. The 'MANAGER' button is circled with a red box and labeled 'イメージマネージャの起動' (Start Image Manager). The '追加' (Add) button is circled and labeled '写真の挿入' (Insert Photo). The 'メッセージ本文' (Message Body) field contains the text: `[size=large]タイボランティア活動[/size]` followed by `[img align=right]` and a URL. A red box highlights the code, with an arrow pointing to the '追加' button. A note says '本文が短い場合、空白を入れないと画像が食い込む。' (If the text is short, not entering a blank space will cause the image to overlap). The 'チェックを外す' (Uncheck) button is circled and labeled 'チェックを外す'. The 'オプション' (Options) section has checkboxes for 'ニュースが承認された旨をメールで受け取る' and '顔アイコンを無効'. The 'プレビュー' (Preview) and '投稿する' (Post) buttons are at the bottom.



- (5) 「メッセージ本文の入力」・・・この時、文章が短いと画像が文章に食い込むので、数行改行しておく。
- (6) 「オプション」のチェックマークを外す。
- (7) 「プレビュー」ボタンで確認する。



- (8) 「投稿する」ボタンをクリックすれば完了。

3 学校行事の記入方法

- (1) 「メインメニュー」の「学校行事」をクリック
- (2) 「新規登録」または、カレンダーの日付をクリックし、「予定の追加」をクリック。
- (3) 「件名」「場所」「詳細」などを入力し、画面下の「新規登録」をクリックし、終了。

4 アルバムの投稿方法

- (1) 「メインメニュー」の「アルバム」をクリック
- (2) 「投稿」をクリックし、「タイトル」などを入力し、「カテゴリ」を選択する。
- (3) 「画像選択」の右側「参照」でローカル PC の画像を選択。
- (4) 「プレビュー」し、確認できたら「送信」をクリックし、終了

アンケート質問項目例

パソコン・携帯電話利用に関するアンケートと、ホームページへの写真などの掲載について〈保護者用〉

- ✚ 日ごろ、パソコンを利用されていますか。
- ✚ どこでパソコンを利用しますか。
- ✚ 日ごろ、主に使っているパソコンのOSはどれですか。
- ✚ パソコンをどんなことに使っていますか。
- ✚ インターネットに接続できる携帯電話をお持ちですか。
- ✚ 市の不審者情報配信システムに登録されていますか。
- ✚ 市の不審者情報配信システムによる情報をどのような場で活用されていますか。
- ✚ ○○小学校のホームページを御覧になったことはありますか。
- ✚ ○○小学校のホームページを見た感想を書いてください。
- ✚ ○○小学校のホームページにあったらよいと思うものはどれですか。
 - ア 学校の情報を伝えるページ（子どもたちの活動など）
 - イ 学習プリントなどの提供
 - ウ 不審者情報などの提供
 - エ 学校行事などの予定表の提供
 - オ 掲示板（PTA 活動など、学校と地域・保護者の方が互いに連絡を取り合ったり、意見交換をし合ったりすることができる場）
 - カ その他、御自由にお書きください。

○○中学校ホームページ(以下○○中 HP)についてのアンケート〈教師用〉

性別【男・女】年代【20代 30代 40代 50代 60代】職名【 】

- ✚ ホームページ・ブログを作成したことがありますか。
- ✚ ホームページ・ブログ作成にどこで関わったことがありますか。その際、利用したソフトウェアは何ですか。
 - ☐ ホームページビルダー ☐ CMS(XOOPS など) ☐ Web サービス(Livedoor ブログなど)
 - ☐ その他()
- ✚ ○○中 HP の作成に関わったことがありますか。
- ✚ ○○中 HP がリニューアルされたことを知っていますか。
- ✚ リニューアルされた○○中 HP を御覧になりましたか。
- ✚ リニューアルされた○○中 HP の作成に関わったことがありますか。
- ✚ 今のシステムでの HP 作成・更新はどうですか。
- ✚ 今のシステムで便利だということをお答えください。
 - ☐ ワープロ感覚で入力、写真の掲載ができる
 - ☐ 承認機能がある
 - ☐ ID とパスワードで管理されている
 - ☐ インターネットにつながっているコンピュータであれば作成できる
 - ☐ グループルームがある
 - ☐ その他()
- ✚ 今後、HP 作成・更新に関わりたいと思いますか。
- ✚ 閲覧、作成・更新を含め総合的に考えてどちらの HP(システム)がいいですか。
- ✚ 学校ホームページについてのお考えをお聞かせください。
- ✚ 学校ホームページについてどう思いますか。
- ✚ 学校ホームページが必要である、その理由は何ですか？
 - ☐ 生徒の活動の様子を随時(即日)保護者などに伝えたいから
 - ☐ 保護者などに随時(いつでも)学校の情報(発行物など)を提供したいから

- ☐ 情報公開の観点から学校は様々な手段で情報を伝える必要があるから
☐ 今の時代、学校ホームページくらいないといけないと思うから
☐ その他（ ）

✚ 学校ホームページが必要でない、その理由は何ですか？その理由をお書きください。

〇〇中学校ホームページ(以下〇〇中 HP)についてのアンケート〈保護者用〉

性別【男・女】年代【20代 30代 40代 50代 60代】

(〈教師用〉との重複項目省略)

- ✚ 学校ホームページについてどう思いますか。
☐ 必要である ☐ どちらかというと必要である
☐ どちらかというと必要でない ☐ 必要ない
- ✚ 学校ホームページが必要である、その理由は何ですか？
☐ 子どもの活動の様子を随時、早く知りたいから
☐ 欲しいときに学校の情報(行事・配布物など)を知りたいから
☐ 情報公開の観点から学校は様々な手段で情報を伝える必要があるから
☐ 今の時代、学校ホームページくらいないといけないと思うから
☐ その他（ ）
- ✚ 今後の〇〇中 HP に望むことがあればお書きください。

本校ホームページについてのアンケート〈保護者用〉

- ✚ トップページについては、次の内容を掲載しています。実際に使用されたり、閲覧されたりしてお気づきのことをお書きください。
- ✚ Group Room 内には、現在上記内容を掲載しています。実際に使用されたり、閲覧されたりしてお気づきのことをお書きください。
○よい点や効果的な点など
○こうしたらよいと思われる点や、改善点など
○その他、トップページ(Group Room 内)にあったらよいと思う内容を書いてください。
☆その他、今後を踏まえ本校HPについての御意見を下に御自由にお書きください。

引用・参考文献

- 編著者 石塚丈晴・堀田龍也 2005 年 6 月 17 日
『誰でも簡単にできる学校 Web サイト活用法
ー学校の情報公開，地域・保護者との連携のためにー』 株式会社高陵社書店
- 編著者 新井紀子 2006 年 3 月 31 日
『求められるインターネットの情報共有
NetCommons でつくる学びを育む学校 Web サイト』 国立情報学研究所

開かれた学校づくりを推進するための学校ホームページの活用に関する研究協力委員

◆研究協力委員

齋藤 幸成	日光市立落合西小学校教諭
中川 幸夫	那須町立芦野小学校教諭
皆川 浩司	二宮町立久下田中学校教諭
手塚 裕之	佐野市立南中学校教諭
大崎 逸夫	県立栃木工業高等学校教諭
松本 尚浩	県立那須拓陽高等学校教諭
本間 和敬	日光市教育委員会副主幹兼指導主事
郡司 一弘	那須教育事務所指導主事
阿久津 裕	真岡市情報センター指導主事
谷 直人	佐野市教育センター指導主事
湯澤 修一	栃木県教育委員会学校教育課副主幹

◆事務局

江部 信夫	栃木県総合教育センター研究調査部部長
高山 芳樹	〃 研究調査部副主幹
日下田 静夫	〃 研究調査部指導主事
吉川 孝昭	〃 研究調査部指導主事
高野 寿映	〃 研究調査部指導主事
名塚 久貴	〃 研修部指導主事

ＣＭＳを活用した学校ホームページ ～開かれた学校づくりのための Contents Management System～

発行 平成 20 年3月
栃木県総合教育センター 研究調査部
〒320-0002 栃木県宇都宮市瓦谷町 1070
TEL 028-665-7208 FAX 028-665-7303
URL <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>

※ 本資料は、上記の栃木県総合教育センターホームページから、ダウンロードすることができます。

